

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 中国支部
平成 27 年度 社会貢献活動

報告書

活動テーマ



～ 総合的なまちづくりにおける課題解決に向けて ～



平成 28 年 3 月

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会
中国支部 技術部会 地域計画委員会

*** 目 次 ***

(頁)

はじめに

第1章 活動概要	1
1. 目的	1
2. 活動内容	2
2.1 活動の流れ	2
2.2 活動の対象範囲	2
2.3 活動の内容	2
3. 活動工程	4
第2章 活動結果	5
1. 「スポーツとまちづくり まちトーク2016」の開催	5
1.1 開催準備	5
1.2 開催概要	8
1.3 開催結果	9
2. 観光ガイドブックの作成	30
2.1 作成概要	30
2.2 作成方法	30
2.3 作成結果	30
3. まちづくり活動への参加報告	36
3.1 活動概要	36
3.2 参加報告	36
4. まちづくり出前授業	40
4.1 活動概要	40
4.2 実施報告	40

参考資料

1. 活動メンバー一覧	参考-1
2. 「スポーツとまちづくり まちトーク2016」関連資料	参考-2
3. 活動メンバー感想	参考-10

はじめに

地域計画委員会は「まちづくり」の視点からさまざまな活動を実行しています。平成 12 年に活動を開始し、これまでに、「市民参加による公共施設整備」、「社会基盤のバリアフリー（ユニバーサルデザイン）」、「自転車まちづくり」と続き、平成 25 年度からは「まちのやさしさ」をテーマに、やさしいまちづくりへのさまざまなアプローチを探りつつ、公共交通機関のやさしさについて掘り下げました。

今年度は、やさしさを「来訪者（観光客）」の視点から切り取り、“地域に根差した建設コンサルタント”としての目線でひろしまの観光資源を調査し、公共交通機関とあわせたまち歩きルートとしてガイドブックにとりまとめ、発行しています。

また、さまざまな団体と協働し、市民活動や学校教育などを支援することで新たなまちづくりの視座を得ることができました。

恒例となった、「まちトーク」では、「スポーツとまちづくり」と題し、スポーツ王国・ひろしまを代表するトップカテゴリーの方々をパネリストにお招きし、スポーツが地域に与える影響やそれを支える社会基盤として必要な条件等について議論することで、新たな課題や将来へのアイデアを得ることができました。

この 1 年間を振り返ると、あらためて、建設コンサルタントの役割は非常に広く深く、そして極めて重要であることが認識できた委員会活動であったと思います。

我々、地域計画委員会は、これからも所属や専門分野を超え幅広い交流の中で自らの技術力を高め、地域社会に貢献していきます。

地域計画委員会 委員長 森島誠司
(中電技術コンサルタント株式会社)



地域計画委員会の出発点

「21 世紀 市民参加のまちづくりフォーラム」

ランディー・ヘスター氏(カリフォルニア大学パークレイ校教授)を迎えて

: 中国電力本店大会議場 2001.01.17



第1章 活動概要

1. 目的

平成18年度から7年間は「自転車とまちづくり」をテーマとして活動してきた。

平成25年度からは、自転車の視点からだけのまちづくりではなく、安心・安全、賑わい、景観、環境など、総合的なまちづくりにおける様々な課題について探ることを目的として活動してきた。様々な課題が解決されたまちとはどんなまちか、たぶん安全・安心でにぎわいがあり、便利で快適な環境の良いまち、言い換えれば人が集まるまち、集まっているまちではないか。このようなまちを創るには、まちに住む人の“やさしさ”が必要と考え、本活動のテーマを“やさしいまちづくり”と設定した。

また本活動は、市民等との対話・意見交換の場を設けるとともに、成果等を一般に向けて広報することにより、“やさしいまちづくり”のきっかけづくりを目指しており、今年度が3年目となる。

平成25年度は、“やさしいまちづくり”をテーマに掲げ、第一ステップとして、“課題を探ること”を目的として「WEBアンケート調査」、「みんなでつくろう「やさしいまち」まちトーク2013in 広島（2013年11月23日）」を開催した。

昨年の平成26度は、平成25年度に引き続き“やさしいまちづくりに向けた課題を探ること”及び、第二ステップとして、“やさしいまちづくりに向けた提案事項を探ること”を目的として、「移動手段のやさしさ調査」、「まちづくり活動への参加」、「移動からみるまちのやさしさ まちトーク2014in 広島（2014年11月22日）」を開催した。

本年度は、昨年度までの活動を踏まえ、活動成果となるアウトプットの作成を目的として、昨年度の「移動のやさしさ調査」を踏まえ、観光客を対象として公共交通に視点を置いた観光ガイドブック「ひろしま うらまちめぐり Tour of downtown in Hiroshima」を作成した。また、新たな視点として、広島の特徴であるスポーツとまちづくりの関わりを探るため、「スポーツとまちづくり まちトーク2016（2016年1月24日）」を開催した。

なお、本活動は、「やさしいまちづくり」のきっかけとなるために、継続的な取り組みの展開を図るものとしている。

本活動は、(一社)建設コンサルタンツ協会の「第二次中期行動計画 H22.3」に基づく社会貢献のための行動の一環であり、社会資本整備に関わる知見と知識を提供できる専門家集団として、ボランティア活動、各種フォーラム、著作物などを通じて、協会及び建設コンサルタンの情報発信と社会的認知度を高めることをねらいとしている。

(一社)建設コンサルタンツ協会・中期行動計画 <http://www.jcca.or.jp/about/invention/plan2/index.html>

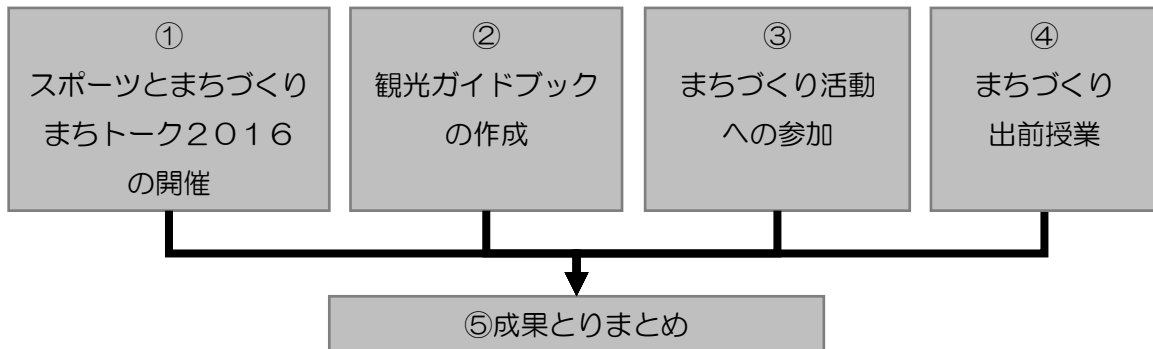


2. 活動内容

2.1 活動の流れ

本活動は、下図のフローに示すとおり、4つの活動を順次行い、成果としての本報告をとりまとめた。

4つの活動は、フォーラム「スポーツとまちづくり まちトーク2016の開催」、「観光ガイドブックの作成」、「まちづくり活動への参加」、「まちづくり出前授業」である。



2.2 活動の対象範囲

活動の対象範囲は、事務局のある広島市を中心に中国地域全体を対象とした。

2.3 活動の内容

(1) まちトーク2016 スポーツとまちづくりの開催

新たな視点として、トップカテゴリーのスポーツが多く活躍するひろしまにおいて、チーム代表者やアスリートと地域貢献について議論することで、シビックプライドの醸成への糸口を模索する場としてフォーラムを開催した。

(2) 観光ガイドブックの作成

昨年から継続して調査している“まちのやさしさ”の発展に向けて、公共交通機関を利用したツーリズムについて調査し、広島を訪れる観光客、特に外国観光客を意識したまち歩きガイドブック「ひろしま うらまちめぐり Tour of downtown in Hiroshima」を作成した。

(3) まちづくり活動への参加

昨年度に引き続き、まちづくりにおける団体運営の仕方や課題、改善に向けた提案等を整理するきっかけとするために、まちづくり活動に参加し、団体の支援等を行った。

今年度は、今年で7回目を迎える中国地方学生フォーラム（中国・地域づくり交流会主催）に参加した。



(4) まちづくり出前授業

社会貢献活動のひとつとして、子ども向けの啓発活動を行った。本年度は、まちのやさしさ（ユニバーサルデザイン）や大切なまちの環境をテーマとして、広島市内の三篠小学校（西区）の総合的な学習の時間において出前授業を実施した。

(5) 成果とりまとめ

以上の活動成果は、本報告書に記すとおりとりまとめた。

なお、本報告書は広島市や広島県、国土交通省へ建コン協の活動成果として提出することを検討している。



3. 活動工程

活動は以下に示す工程で実施し、会議はメンバー各社の持ち回りで計8回実施した。
 なお、具体的な作業については、メンバー内で作業を分担し実施した。

表 活動工程

	H27 (2015) 年										H28 (2016) 年		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
(1) まちトーク2016 スポーツとまちづくり													
①準備													
②実施													
(2) 観光ガイドブックの作成													
①準備													
②調査													
③とりまとめ													
(3) まちづくり活動への参加													
(4) まちづくり出前授業													
(5) 成果とりまとめ													
会議													



第2章 活動結果

1. 「スポーツとまちづくり まちトーク2016」の開催

黒田選手の復帰とカープ女子の盛り上がり、サンフレッチェ広島3度目の日本一、JT サンダースの初優勝などスポーツの明るい話題で持ちきりだったひろしま。ひろしまには多くのスポーツチーム・アスリートがトップカテゴリーで活躍している。

あたりまえのように存在するこれらのチームであるが、全国の地域から見れば日常的にこれらにふれることができることはうらやましく、贅沢な環境とも評価されている。

広島東洋カープはその歴史的な背景もあいまって、広島の文化として根付いていると認識されており、「カープ女子」に代表されるように、その圧倒的な人気は今や全国を巻き込んだ拡がりを見せている。

今回のフォーラムは、トップカテゴリーのスポーツが地域にあることの意義をまちづくりの視点から探っていき、今後の地域活性化のヒントになることを期待して開催した。

1.1 開催準備

フライヤーを作成し、メンバー各社により、行政機関や公共施設等に配布するとともに、SNS（ツイッターやフェイスブック）により案内を行った。

また、在広メディア（中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、中国新聞）にプレスリリースし、中国新聞から事前に取材を受け、まちトーク開催について紙面に掲載された（下参照）。

2016年(平成28年)1月19日(火曜日) 中国新聞

パネリストはサッカーJ1サンフレッチェ広島の織田秀和社長、バスケットボール男子ナショナルリーグ広島ドラゴンフライズの岸房康行社長、女子サッカーなどでしごと部アンジュワイオレ広島の神村登紀恵理事、中西國

スポーツと地域考える 23日西区サンフレ社長ら討論

トップ級のスポーツチームは地域に何をもちたらずのかを当事者たちが探るイベント「スポーツとまちづくり」が19日午後1時半、広島市西区の横川シネマである。入場無料。

パネリストはサッカーJ1サンフレッチェ広島の織田秀和社長、バスケットボール男子ナショナルリーグ広島ドラゴンフライズの岸房康行社長、女子サッカーなどでしごと部アンジュワイオレ広島の神村登紀恵理事、中西國

(平成28年1月19日付け
中国新聞朝刊)

初の自転車ロードレース「済大陸上部監督の5人」。

建設コンサルタンツ協会中国支部地域計画委員会の主催。コーディネーターを務める森島誠司委員長は「街の誇り、暮らしの支えなどの精神的な側面や、地元愛とチーム成績の両立が可能なかといった問題にも切り込みたい」と話す。

中電技術コンサルタ
ント内の事務局 80
82(256)3335



【配布フライヤー（オモテ）】

（一社）建設コンサルタンツ協会プレゼンツ

参加費無料！

定員120名

まちトーク 2016

スポーツとまちづくり

～トッパアスリートが地域にもたらずコト～
チーム・市民・地域をつなぐ“スポーツまちづくり術”を探る

【日時】平成28年1月23日(土) 13:30～16:00(開場 13:00)

【会場】横川シネマ(JR,広電横川駅徒歩3分：広島市西区横川町 3-1-12)

プログラム

13:30 第1部 チーム誕生の軌跡（各チーム設立経緯の紹介他）

パネリスト	織田 秀和	サンフレッチェ広島	代表取締役社長
	岸房 康行	広島ドラゴンフライズ	代表取締役社長
	堀 啓二	ヴィクトワール広島	アシスタント
	神村登紀恵	アンジュヴィオレ広島	理事
	尾方 剛	広島経済大学	陸上部監督
コーディネータ	森島 誠司	建設コンサルタンツ協会	地域計画委員長

14:45 休憩（ハーフタイム）

14:55 第2部 パネルディスカッション ～地域と共に輝くために～

16:00 アディショナルタイム??

※チーム事情等により一部内容が変更となる場合があります

■主催 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 中国支部 地域計画委員会

■お問い合わせ先 まちトーク2016事務局 中電技術コンサルタント(株) 都市整備部 藤岡・織田

TEL:082-256-3352 FAX:082-256-1968





【配布フライヤー（ウラ）】

パネリスト・コーディネーターのご紹介



織田 秀和
おりた ひでかず

筑波大学を卒業後、サンフレッチェ広島の前身であるマツダサッカークラブに加入。日本サッカーリーグで中心選手として活躍し1990年に現役引退。1992年のクラブ創設時からチーム強化に携わり、強化部長として2012年～2013年のJリーグ連覇に貢献。2015年に代表取締役社長に就任し、3度目のJリーグ制覇を達成。



岸房 康行
きしふさ やすゆき

2004年から広島県家庭婦人バスケットボール連盟会長としてバスケットボールに関わり、2015年より（株）広島ドラゴンフライズ代表取締役社長として新リーグ「B.LEAGUE」の入会対応に取り組んだ。また、NPO法人こころ21理事長、（公社）青少年育成県民会議理事として青少年健全育成に取り組んでいる。



神村登紀恵
かみむら とときえ

地区の青少年指導員、主任児童委員など青少年の健全育成に携わるかたわら、消防団女性消防隊隊長（西区）、かよこバス活用委員会副会長など女性リーダーとして活躍。NPO法人ひろしま横川スポーツカルチャークラブ理事としてアンジュヴィオレ広島の結成に尽力、現在はなでしこリーグ常任理事として女子サッカーの普及に奮闘中。



堀 啓二
ほり けいじ

ホンダ直資会社執行役員を最後に早期退職。広島初の自転車カフェをオープンし、自転車振興と活性化に努めると同時に中四国初のプロロードレースチーム“ヴィクトワール広島”創設スタッフとして活動。現在、自転車を通して地域の環境問題や観光振興、地域活性化に更なる注力を図るため「古民家“輪”」を新拠点に活動中です。



岡 尾方 剛
おがた つよし

広島県立熊野高校から山梨学院大学へ進学し、箱根駅伝で総合優勝（区間賞）。卒業後は中国電力のエースとしてニューイヤー駅伝で優勝（区間賞）。マラソンでは、世界選手権3回出場（ヘルシンキ大会銅メダル）、北京オリンピック代表として活躍。2012年の現役引退を機に、広島経済大学陸上部監督として選手の育成にあたっている。



森島 誠司
もりしま せいじ

東京農業大学卒。15年間の在京生活を経て郷里・広島にUターン。ランドスケープデザインや地域活性化等のプランニングに取り組むかたわら、地域では自治会長、NPO法人事務局、行政のアドバイザーなど、積極的に活動中。文部科学省登録技術士（建設部門）、日本サッカー協会公認指導者ライセンス保有。（中電技術コンサルタント（株）勤務）

横川シネマホームページ <http://yokogawacinema.com/>

ひろしまには “最高の週末” がある！



広島カープ、サンフレッチェ、アンジュヴィオレ、ドラゴンフライズ、JTサンダース、レオリック、メイプルレッズ、レッドスパークス、駅伝・・・
今週末、どこの応援に行こうか？
・・・こんな贅沢な暮らしが “ひろしま” にはある！！

JCCA Japan Civil Engineering Consultants Association
Morishi Design Firm
2-15 YAMATAI-CHO, NISHI-KU, HIROSHIMA CITY



1.2 開催概要

開催日時：平成28年1月23日（土） 13:30～16:10

会場：横川シネマ（広島市西区）

パネリスト：織田 秀和 氏（サンフレッチェ広島 代表取締役社長）
岸房 康行 氏（広島ドラゴンフライズ 代表取締役社長）
堀 啓二 氏（ヴィクトワール広島 アシスタント）
神村登紀恵 氏（アンジュヴィオレ広島 理事）
尾方 剛 氏（北京五輪代表、広島経済大学陸上部監督）

コーディネータ：森島 誠司（建設コンサルタンツ協会）

第1部 チーム誕生の軌跡（各チーム設立経緯の紹介他）

第2部 パネルディスカッション ～地域と共に輝くために～

第1部では、各チームのこれまでの歴史や現在の状況についてお話いただき、後半では、「地域とともに輝くために」と題して、熱いトークが展開された。なかでも、トップカテゴリーのスポーツが多いということは、我々市民にとっては多くの選択肢があるということであるが、運営側から見れば、試合開催日が重なったり、ニュースでの取り上げられる回数が減ったりと厳しい状況にあるようであった。新潟や長野では、他にスポーツが少なく、お年寄りから小さな子どもまで応援に来ていて、チームが愛されている姿に感動したといったお話もあり、カーブをお手本に、市民に愛されるチームを目指したいという想いは共通のようであった。また、運営面では多くのボランティアが参加されており、チームをサポートすることが生きがいにもなっているようである。

広島ではサッカー専用スタジアムの建設が大きな話題となっているが、経済効果だけでは表せない、大きな意義がスポーツにはあると感じた「まちトーク2016」となった。



会場の横川シネマ（広島市西区）



1.3 開催結果

「スポーツとまちづくり まちトーク2016」には80名の参加があった。以下に内容を掲載する。

第1部 チーム誕生の軌跡（各チーム設立経緯の紹介他）

■森島

みなさんこんにちは。今日は建設コンサルタンツ協会プレゼンツということで、スポーツとまちづくり、まちトーク2016にお越し下さり、誠にありがとうございます。

我々建設コンサルタンツ協会は、日ごろ社会インフラに関わる調査・設計・計画を行っている企業の集まりとなっています。身近なところでは、道路や橋梁、河川や港湾の計画や設計、公園のデザインや都市計画といったことを行っている技術者、専門家の集団です。

年に1度社会貢献活動としてシンポジウムを開催しています。この「まちトーク」は15年以上開催しており、これまでも「自転車まちづくり」、「バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり」などのテーマで開催しています。今回は「スポーツとまちづくり」ということで経済波及効果や健康づくりといった面だけではなく、トップカテゴリーのスポーツがまちにあるということが住んでいる人にどういった影響があるのか、そのまちに暮らしたいと思うきっかけになるのではないか。そういったところを各トップカテゴリーで活躍されている皆さん、それぞれにお話をさせていただきます。まちトークということですので、シンポジウム、講演会ということではありません。パネラーのみなさんに自由にお話しただいて、会話の内容を皆さんに聞いていただき、会場とも会話していただき、それをお持ち帰りいただくという趣旨です。その会話をもって、皆さんがどう思われるかというところを感じていただければと思っています。

（パネラー入場）

■織田

昨年はチームが素晴らしい成績を出してくれ、選手の頑張りはもちろんですが、選手を後押しして下さったのは、ここにいらっしゃる皆様、スタジアムに応援に来ていただいた方、あるいはテレビで応援してくださった、皆様のおかげだと思います。感謝申し上げます。

今日はサンフレッチェ広島のお話をさせていただきますが、設立は1992年です。今年が25年目になります。私たちのクラブは株主様が広島県、広島市、安芸高田市の3つの自治体と、60の企業様、ですから全部で63の団体からサポートしていただいております。昨年の看板スポンサーや年間指定席を買っていただいたのは全部で400社余りになります。我々のクラブは一つの企業に支えられているのではなく、広島県内の多くの皆様に支えられているのだと言えます。プロサッカークラブなので商品はクラブですから、チームのことをお話しする、評価することは必要かと思いますが、今日は少し違った側面、サッカーの活動以外のことについて少しお話しします。我々のクラブは育成のところから日本一のクラブを目指してやっています。県内に複数の育成スクールを持ち、提携スクールが尾道と島根県出雲にあります。サッカーのスクール活動だけではなくPRサポートショップという制度があり、お店の皆様にお申し込みをいただき、去年は「結集」でしたが今年は「挑戦」の幟とポスターとポケット日程表をお渡ししています。街中をできるだけ紫に染めていこうという活動をしています。

試合会場にお越しいただいた方はご存知かと思いますが、フレンドリータウンといって市や町の皆さま



んと協力しながら試合会場を盛り上げていただいています。

社会貢献活動として、選手たちによる小学校訪問を開幕前とシーズンの中盤に行っています。選手を7つのグループに分けて県内の小学校に訪問しています。お昼前の授業をお借りして子供たちと一緒にサッカーをしてお昼に給食をたべます。午後も少しだけ子供たちとサッカーをするという活動をしています。直近の活動は今週の月曜日に選手たちが行ってきました。そのほかに社会貢献活動としてピンクリボンキャンペーンなどの活動を行っています。

Jリーグは毎年観戦者調査を行っており、地域貢献に関するアンケート項目がありますが、サンフレッチェ広島は2013年に第1位となっております。こちらは40クラブ中の順位で、活動が認められていると考えています。

ここ4年間で3回日本一になっています。しかし、まさかというチームが降格するということもあり、拮抗した争いとなっています。この結果に甘んじることなく、今年も気を引き締めて臨んでいきます。

ホームゲームの入場者数ですが、他チームとの比較ができていませんが、我々は少ないです。J1の18チーム中この人数は12位ぐらいです。

サンフレッチェは4年連続フェアプレー賞をいただきました。フェアに勝てるチームの象徴だと思います。引き続きトップを目指しますが、高円宮杯の受賞記録が伸びるよう頑張っていきたいと思います。



サンフレッチェ広島 動画の様子



■岸房

チームができて2年目ということで、なかなかまだ浸透はできていません。ホームアリーナはサンブラザです。ここで6割程度試合を行い、他の都市でも開催しています。所属はナショナルバスケットボールリーグ NBL です。BJリーグと統合します。

「ひろしまにバスケットつながる風景を」というスローガンで会社を設立しました。残念ながら、来季の新リーグでは2部からのスタートとなりましたが、昨シーズンはウエスタンカンファレンス3位でプレーオフに出場しました。全日本総合バスケットボール大会では初出場で準優勝しました。新設のチームでルーキーが多い中、決勝まで行きました。

平均観客動員数は、去年は1200人程度でしたが、今年は300人程度増えています。これはカープの菊池選手がドラゴンフライズの応援に行こうと呼びかけて下さったおかげです。そこで、カープのユニフォームを着てきていただいた方は割引するというキャンペーンを行いました。ぜひ応援に来ていただいて、バスケットの臨場感等を感じてみてください。



ドラゴンフライズ 動画の様子



■堀

今日は地域とスポーツということなので、私自身のことも踏まえてお話しします。その中でもヴィクトワール広島と自転車の拠点として活動中の古民家「輪」についてです。古民家「輪」というのは何だろうなと思われている方、サイクリストの視点、地域とのコミュニケーションの場を設けました。ヴィクトワール広島は全日本自転車連盟に属しています。ジャパンプロツアーという4つのカテゴリーの一番上、全国で22チームしか入れません。中四国初の参入チームです。チームができた経緯ですが、高校まで自転車をして、大学は地方や都会に行っても帰ってきてチームがありませんでした。また、広島には素晴らしい人材が多くいらっしゃいました。広島にチームがあれば広島の選手が広島で戦える。広島を拠点として、中四国出身のチームを作りました。

自転車に乗っているプロの私たちが、何が出来るか、一つは安全ということだと思います。

今日の中国新聞の朝刊に地域と共にという話で明日オープンの古民家カフェがあり、サイクリストが多く集まるエリアで、国道の開通式にチームとして参加しました。それから、地域の方々と交流があり、そこから、古民家を守りたいという相談があり、地域の若い方々の力もあり、オープンとなりました。ぜひ皆さんも来てみてください。



ヴィクトワール広島 動画の様子



■神村

女子のチームということで、ここの中でも紅一点お話できたらと思います。

アンジュヴィオレ広島は、母体が、「NPO法人広島横川スポーツカルチャークラブ」です。

サンフレッチェ広島へ行くバス（広電バス）が、横川駅から出ています。横川をもっと楽しくしようという会があり、横川をサッカータウンにしてはどうかという話が挙がりました。どうせなら女子のサッカーチームを作ろうという話になり、NPO団体を立ち上げ、アンジュヴィオレ広島が生まれました。

しかし、立ち上げようとなったときに、皆サッカーについては素人でした、サッカー協会の女子部長のご指導があり、ここまでくることができました。サンフレッチェやドラゴンフライスさんと違って、まだプロチームではありません。アマチュア集団クラブです。

2012年、はじめての県リーグを勝ち上がりました。続いて、中国リーグで勝ち、チャレンジリーグに上りました。当時、なでしこリーグは1部リーグとチャレンジリーグしかなかったのですが、チャレンジリーグへの入れ替え戦、鹿児島戦で、しっかりと勝ってくれて、チャレンジリーグへの昇格が決まり、参入させていただくことになりました。

チャレンジリーグ初年度の結果が10位でしたが、その次2015年から1部、2部、チャレンジリーグとJリーグと同じ、3部構成となり、なでしこリーグ2部で5位の成績で終わりました。今後の目標ですが、1部昇格をめざしてがんばっていきます。

いま、女子サッカーチームもJリーグと並べるよう、組織づくりが行なわれています。現在、なでしこリーグの理事もさせていただいており、地元の色々なチームに関わっている方々と会議をするのですが、日本のなでしこリーグに関わるチームはそれぞれ成り立ちが違い、企業や大学が母体のものが多いです。そのような状況にあって、アンジュヴィオレ広島は、地域住民の皆様からスタートし、企業にお願いして、県にお願いして、といった活動の中で地域に根付いたチームです。資金については、広島カープ創世記のように、すべて寄付・募金で確保しています。

なでしこリーグ2部になったことで、全国での試合となり遠征費も、かなり多くかかっています。

多くの皆様に賛助会員になっていただき、このチームを運営していきたいと思います。

スタッフも全員ボランティアです。三篠（みささ）の体育協会、子ども会や、青少年健全育成協議会など、様々な地域の方々が所属しているのですが、現理事が、社会福祉協議会の会長でもあり、地域の方々が協力する体制ができています。また、一般から公募により来ていただいているボランティアの方々も含めて、全てボランティアで運営しています。

リーグの試合運営は初めてのことですが、NPOメンバーやボランティアの方々やピッチのラインペイントやスポンサー看板設置、ゴールポストの設置など、前日遅くまで掛かって準備をし、試合に備えています。

また、会場施設の電光掲示板が壊れたり、なかつたりするのですが、メンバー表示板を手づくりし、地域のサッカー選手達などに手伝ってもらったりしています。

先ほど申しましたが、アマチュアチームのため、選手はみんな普段働いております。昼間はそれぞれの企業で働き、夜7時から9時まで練習に取り組んでいます。また、2016年からは、リーグの規定により、各企業に依頼し、16時まで勤務、17時半から練習に入ることになっています。

3月からシーズン開幕のため、練習に励んでいます。

先ほどの動画でキャプテンが出ていましたが、久しぶりにスカート姿を見ました。普段は各企業で働



き、夜に好きなサッカーをしています。

私が高校生の頃は、広島はサッカー王国といわれた地域でした。サンフレッチェ広島も現在に至るまでに苦勞していますが、サッカー王国なのに、地域のチームがなかったのです。女子サッカーといえば、なでしこジャパンが有名ですが、あの中には広島出身の選手もいます。

良い選手がいても、地元でトップカテゴリーのチームがないため、県外に出て行ってしまふ、という流れもあります。そのような背景もあり、アンジュヴィオレ広島を立ち上げ、広島や中国地方で良い選手が集まればよいなと思っています。おかげさまで、県内に戻って来たりしています。

アンジュヴィオレ広島の下部組織としてアカデミー部門があり、U18、U15のチーム、U12のスクールがあります。

小学生世代にはいくつかの女子サッカーチームがありますが、中学生になると女子サッカーチームがないということが多々あります。そのような状況があり、全国的に女子サッカーチームを強化しようということで、U15をつくり、女子サッカーの振興を行なっています。

アンジュヴィオレはスポーツを通じて、地域社会の中で、貢献していけたらと思っています。サッカーをやりたい子の受け皿になれるように、もっと広がっていけたらと思います。

最大の目標は、トップチームがなでしこ1部に昇格し、将来的にはプロチームになること、目標はそこです。

また、母体のカルチャークラブは、文化系の活動も行なっています。103年前に走ったかよこバスも行なっています。幅広い活動の中で、女子サッカーチームがとけ込んでいけて、地域の活性化を図っていけたらと考えています。

サンフレッチェ広島と同じように、アンジュヴィオレ広島が広島の中で、愛されるチームになれるようがんばっていきたいと思います。

賛助会員もごさいますので、是非ご参加いただけたらと思います。



アンジュヴィオレ広島 動画の様子



■尾方

テレビ番組で特集されたときの映像を紹介します。



広島経済大学 動画の様子



第2部 パネルディスカッション ～地域と共に輝くために～

第2部を始めるにあたり、話題提供としてご紹介します。

日本のプロ野球チームの所在地、都道府県で色を付けると、北海道から福岡までチームが存在します。

次にJリーグですが、J3は、U-23等、参加チームの基準が複雑なため、J1・J2のみ挙げさせてもらいました。東北地方、九州地方には存在しませんが、プロ野球と比較すると、これだけのチームがあり、また、一つの都道府県に複数のチームが存在するところもあります。

次になでしこリーグ1部・2部については北海道、東北地方には存在していません。

トップカテゴリーということで、来シーズンから始まる、Bリーグですが、都道府県で見ると北海道、東北地方が充実しています。インドアスポーツであることも理由かと感じます。

バレーボールのプレミアリーグ（男子・女子）は、かなり偏りが見られます。大都市にチームが少ないといった状況です。

ラグビー、トップリーグ1部と2部は、「トップ九州」などのリーグがあります。

次に、ハンドボールではメイプルレズ、レオリック等、活躍されているチームがありますが、分布を見ると、沖縄にもありますが、北の都道府県が寂しいといった印象です。

全てのチーム分布を重ねると、和歌山県、鳥取県（J3を含めると、ガイナレさんがいますが、J3を除いた関係で、鳥取県が空白です）、高知県、宮崎県がトップリーグのない県となっています。

広島県は7チームあります。東京都が6チーム、千葉県が6チームで、広島県は7チームもあります。若干ひいきめではありますが、これだけのトップリーグがある県だということを皆様に知っていただけたらと思います。

では、このような広島県において、「チームが地域で輝きつづけるために」ということで順番に皆さんに質問します。最初に、現在力を入れて取り組まれている地域貢献活動の中で、地域の受け入れや評判が良いとか、あるいはあまりうまくいかなかったなといった事例等について順番にコメントをお願いします。

■織田

やはりニーズが多いのは選手に来て欲しいといったことです。学校ですとかあるいは企業や行政などのイベントに来て欲しい、特にサッカースクール、一緒にボールを蹴ってほしい、といったことです。ただ皆さんもご理解いただけたと思うのですが、サッカーのシーズンと言うのは、来月から公式戦が始まるのですか、これは勝てば勝つほどにですね、天皇杯の決勝などに行きますと、シーズンの切れ目がない、選手もずっと試合に追われるような生活になりますので、なかなか選手にとっても、我々にとっても、試合の中で活躍してもらおうということが1番大切になってくるので、休みの日と言うのは、しっかり休ませたいですし、選手が行けるとしたら、そうした休みの日なのでしょうけれども、このあたりの日程調整が難しいのが現実です。そうは言いながら地域密着と言うのは大切なので、今1番喜ばれているのは、我々の方で企画はしますけれども、小学校訪問です。エピソードとしては、野津田選手という若手選手がいます。彼が、井口明神小学校だった時に小学校訪問で交流した選手が佐藤寿人選手で、隣同士で給食を食べたそうです。それですごい佐藤寿人選手に憧れたと言うエピソードがありました。



■岸房

バスケットボールでも、選手に来て欲しい、具体的にバスケットボールの指導をして欲しいというニーズは結構あります。バスケットの場合は6月から9月末までのオフシーズンを中心に、訪問をしてバスケットボールの指導をしています。また、5日間位の合宿を8月～9月で3回位行います。昨年の方は、庄原市と江田島市と、呉市の安浦町でやりましたが、ぜひ合宿に来て欲しいと言う声があり、これは私どもが合宿の練習を全て公開練習にしているので、広島からファンの方が結構来られると言う事もあるのですが、もう1つは地元の方を喜ばしてほしい、子供たちにもバスケットの指導をしてほしいといった要望が非常に多くあります。特に江田島市さんなどは、合宿誘致委員会等も作っていただきまして呼びかけていただいて、招いていただきました。他の地域も含めてぜひ合宿に来て欲しいと言ったニーズは結構あります。また、9月中旬から下旬にかけて2回から3回、プレシーズンマッチ、他のチームとの練習試合、プロ野球で言えばオープン戦なのですが、これをやります。昨年の方は、三次市と府中市で呼ばれました。府中市では2年連続でプレシーズンマッチを行いましたけれども、地元で実行委員会を立ち上げていただいて、ここまで段取りをするので、ぜひ来てほしい、この地域で試合をしてほしい、地域を盛り上げて欲しいと言うことで、プレシーズンマッチについても、あちこちから要望が来ている状況でございます。可能な限り応えていきたいと思っています。

■堀

地域貢献活動といいますか、地域活性活動と言ったほうがいいのかもかもしれませんが、私どもはツールド広島を開きたいということで、安芸高田市のエリア、6エリアあるのですけれども、そこで全部コースを作って、サイクリングイベントをやりました。このお話をいただいたとき、我々の運営の知識や経験の中で、淡々と進めていけば可能なのですが、まず初めにやった事は地元での会合でした。地元の方が声をかけあって、自転車に乗ってない人ばかりが集まって、実行委員会の準備から入りました。そして実行委員会を作って、主は彼ら、地元の方が集まって、ああでもない、こうでもないとたくさん集まりました。そこで我々は選手が出る側ではなくてスタッフやアドバイザーとしてそこに関わって行きました。地域の人たちが何か行き詰まったとき、自転車だったらどうするの、途中の食事はどうするの、何か行き詰まったときに我々がアドバイスする。それ以外はすべて地元の方々にやっていただきました。ここで何が生まれてくるかというと、我々がやるイベントではなくて、地元がやるイベントになります。そこに我々のJプロツアーで戦っているトップのチームが参加させていただき、一緒にやっていく、これが地域の活性化につながっていると思います。残念ながら今年は雨で、事故や低体温症等のリスクから中止にはなりましたが、終わった直後から地元の方から来年もまたやりたい。ぜひアドバイスしてくれと言うことで、昨年末に新たな実行委員会を立ち上げ、我々はアドバイザーとして参加させていただいています。今年の実施は6月になりましたけれども、それに向けて地域みんなで行っていただける大会と言う意味では良い事例ではないかなと思って紹介させていただきました。

■神村

アンジュヴィオレでは、スポンサーさんのイベントや地域のお祭りなどにも参加させていただいているのですが、何しろまだまだアマチュアの集団なので皆さんに知っていただくのが1番だと思うので、声をかけられたら、できるだけ選手に無理がないようにはしているのですが、1人でも2人でもそうし



たイベントに参加させていただいて、参加したイベントの中で知っていただくといった活動を行っています。女子サッカースクールもやっています。スクール生もこの地域だけではなく、広島市のあちこちから来ていますし、選手のほうも毎回では無いですが、スクールに来ていただいて指導を行っています。

■尾方

現役時代はトップス広島で、小学校訪問とか、そこで陸上競技を指導したりしました。大学の立場とすることでは、陸上教室もそうなんですけれども走り方の指導をしてほしい、指導者として呼ばれて小学生や中学生に走り方を教えることを求められて、ここ4、5年ぐらい行っています。例としましては東広島市の教育委員会で、夢・感動授業と言うのがありまして、スポーツだけでなく色々な分野の方を講師として呼んできて、その中で陸上は公開授業ということをやっていて、そこで自分も参加させていただいたり、他には広島県の教育委員会に呼ばれて、中学生の走る能力が低下していて、全国平均を下回ったデータが出ているので走り方を教えて欲しいということで、県内の中学校小学校に行き、走り方を教えてきました。問題点としましては小学生としては無理に長距離を教えなくてもいい、ただ基本的な走り方、腕の振り方とか足の振り上げ方とかを教えるとかやる気になってくれるのですが、中学生となると実践的な長距離ということを教えないといけなくなるので、やはり向き不向きと言うのもありますし、あとはどうやって長い距離を楽しく、持続させて走らせねばいけないかという事が結構、そこが何かきっかけで楽しく走ってくれる子はいいようなんですけれども、そうじゃなくて元々嫌いで、全く走りたくないといったそこからの先入観からで入ってくる子に対しては、10分でも走ろうと言ってもなかなか走ってくれないので、そこら辺の対応加減が難しいですね。以上です。

■森島

ありがとうございます。やはりトップアスリートの皆さんなのでトップアスリートとしての技術を教えて欲しいと言ったこともあると思いますし、そうやってなかなか触れ合えない憧れの選手が来てくれるということで小学生等に夢を与えるということが多いように感じました。

このように皆さんが地域貢献活動に積極的に関わりながら、この広島という地で、チームの拠点を構えられているわけですが、広島で活動する、広島を地元としてチーム運営していく中で、先ほど広島の街にはトップチームかこんなにもあるということと、エネルギー総合研究所の調査によると、スポーツ観戦率、プロ野球、Jリーグ、当時のbjリーグの3カテゴリーの観戦率が1番高いのが広島県、2位が宮城県で、7割近い観戦者数といったデータが出ており、これは人口に対して割ることによって、評価がされていたのですけれども、これまで活動されてきて、広島の評価がやってみてどう思われたか、良いところ、悪いところ、他の県ではもっとこういういいところがあるとか、ここはやりにくいなど、お話できる範囲でお願いします（笑）。

■岸房

プロチームの中で、1番後発ですので、広島についていろいろ感じておりますが、少し話させていただきたいと思います。広島東洋カープがあるということ、あるいはサンフレッチェがあるということ、こういうことも含めてトップカテゴリーのチームがたくさんあるということ、広島のスポーツ文化、ス



ポーツを観戦するという文化がある程度確立されていると感じました。というのも昨年用事がありまして、宮崎に年末に行ったのですけれども、広島東洋カーブ出身の片岡投手が現地で好み焼き屋をやっているのです。その前からちょっと知り合いだったものですから、ちょっとたずねて行ってみてバスケの話ですとかスポーツの話をいろいろさせていただいたのですが、その中で宮崎では6球団のプロ野球チームはキャンプをするそうです。それでお金を払わなくてもプロの選手が見れるということ、お金を払って見ると言う文化がないと言うふうには言われました。

bjリーグのチームを設立しようとしたのですがうまくいかなかった、そうした意味で広島ではカーブにお金を払ってレベルの高いスポーツを見に行くといった文化が確立されている、凄いことなんだと改めて感じました。地元紙やテレビ局を始め、スポーツの報道体制もきちんと整い確立されているということは非常にメリットとして感じています。ただ後発の運営母体としては、なかなかスポンサー集め、あるいは観客動員対策、あらゆることをやらないと経営が厳しいものがありますから、いろいろな企業を回ってみるのですが、うちはもうカーブに出しているとか、サンフレッチェさんに出しているとか、ということでもうこれ以上は出せないというところが結構あります。それから観客動員につきましても、試合日が重なることがたくさんありました。その時に少し影響を受けているなという感じがしております。

今度はサンフレッチェさんの開幕戦、2月27日、あの日に私どもは、ホームゲームを廿日市で開催するのですが、もうここでも重なってしまいます。探せばあちこちあるんですけども、広島にはプロスポーツを見たいと言う方がたくさんいらっしゃいますけれども、重なった場合はどちらかにしか行けないと言う事情がございますので、少しは影響を受けるかなと感じております。

■織田

特にカーブさんと重なることが多いですね、よくご意見であるのはカーブと日程調整をしたらどうかというお話も伺いまして、話は分かるのですが、Jリーグだけでもリーグ戦の日程を組むのになかなか苦労してらっしゃる、それに試合数の多い野球も加えらるとものすごく大変になります。更にドラゴンフライズさんと日程調整になるともう不可能になります。お客さんの取り合いをするわけではありませんが、それほど広島には沢山の楽しめるスポーツがある、皆さんもできれば野球だけ、サッカーだけ、バスケだけとか言うのではなく、いろいろなスポーツを交流しながら見ていただければなと願っています。

■尾方

やはり先ほどお話にはあった通り広島は本当にトップスポーツが盛んな地域であって、自分が県外に出てよく言われるのは、広島って本当にトップスポーツがたくさんあるね、いろんなスポーツが見れていいねということをよく言われます。その中でも野球とサッカーと言うのは有名ですが、バレーボールやハンドボール、最近はバスケットボールなど、本当にたくさんのスポーツがあって、スポーツ王国広島と言うのを昔から言われているんですけども、活かしきれないのではないかなと思います。トップス広島と言う団体も作って、連携した活動もしていますけれど、十分に機能していない部分もありますので、そういったせっかくの組織をもっとうまく使っていけばいいと思います。プロスポーツ、アマチュアスポーツのすべてがもっとみんなで盛り上げていけるように、今年はリオのオリンピックがありますし、オリンピック選手を広島から何人も出そう、そのスポーツ団体の選手を応援しようという雰囲気



気になれば盛り上がって来ると思いますが、そういった手助けをしていきたいですし、ここにいらっしゃるみなさんも、そのように思って活動されていると思います。

■神村

先ほど言われたように、試合が重なると、アマチュアの団体である私たちはとても観客が少なく悲しくなります。カープさんとサンフレッチェさんが重なると、特にサンフレッチェさんのサポーターの方は結構アンジュヴィオレの応援に来て下さる方が多いので、二つが重なると激減するので影響が大きいです。

今からの子どもたちにとっては、選ぶところがたくさんあることは、良いのではないのでしょうか。私自身、スポーツは大好きなので、アンジュヴィオレとしてだけではなく、スポーツ王国を応援していかないといけないと思っています。

先ほど尾方さんが言われた、広島の子どもたちの体力が落ちている、スキップができない子どもが多いのはご存知でしょうか。特に低学年が、数値が低下しています。これだけのスポーツ王国なのに、子どもたちの運動能力は他の県に比べて確かに広島は低いほうです。学校に色々に関わりがあり、学校に行って子供たちの様子を聞くことがあるのですが、ぜひとも広島にこれだけのスポーツがあるのだから、今から地域の子どもを育成していけたらと思います。また、そこにアンジュヴィオレのチームとして貢献していきたいと思っています。

■森島

自転車という立場から、活動拠点としての広島はどうなのでしょう。

■堀

活動拠点としての広島は、自転車にとってみれば、すごく良い環境にあります。それは山があったり、海が近く、平地がある。そして島がある。こんなにたくさん走るところがある場所は、多分、全国でも一番ではないかとさえ思っています。

おかげでサイクリングイベント、もちろん県知事もそうであるし、尾道のしまなみ海道もそうであるし、いろんなイベントが行われているのはそういう結果ではないかと思う。

練習する場所はとても豊富にあります。しかしながら、自転車が走る環境かと言われれば、全くそうではないです。他県に比べて、自転車と車、もっと言えば車と歩行者、歩行者と自転車のシェアがうまくできていないという意味では、全国でもワーストではないのでしょうか。もちろん、広島という中洲の中にある都市の関係上で、道路がつくり難かったり、橋があったりするため、新たに自転車道をつくらうとなってもなかなか難しいとは思いますが、その前にやることは、交通ルールやマナーを守ることであったり、安全な走り方であったり、もちろんお互いを気遣う、弱者を気遣う、ということをして一人ひとりが思わないといけないことがあると思います。

■森島

広島は工業都市というか、ものづくりの都市でもあります。そういった点で、自転車はファクトリーチームなど、他の競技と違って、自転車本体もチーム毎にいろいろと違いがありますが、提供を受けた



り、製造したり、そういう視点での広島の可能性はいかがでしょうか？

■堀

車はマツダさんがあり、いろんな下請けの自動車工場もたくさんあります。小さいながら、フレームをつくっているメーカーさんはあります。しかしながら、資金力やスポンサー等で、ロードレースに使っているフレームはものすごく高価で、技術力と材料、今はカーボンが主流になっているのですが、それを仕入れるルートをつくるという意味合いでは、技術はあれど、そこまでの資金力がない、というのが現状だと思われます。

■森島

観戦という点では、私たちは、様々な種目の色んなものを苦勞せずに観ることができる環境と言われており、恵まれていると思いますが、運営される側としてみれば、集客面で試合が重なると大変という苦勞があるということでした。先ほども言われていましたが、取り合いではなくて、どのスポーツもいかに均等に観戦されているか、トップス広島もそう意味も含めて設立されたのでしょうか、それがまだまだうまく機能されていないということです。私たちも含めて、これからもっと、いろいろなスポーツについて勉強し、すべてのスポーツが脚光を浴び、国内人口が減っているなかでもスポーツがあるから広島に住みたいと思ってくれる人が増えていくのも理想ではないかと思えます。

続いて、スポンサーを集めたり、試合に多くのお客さんに観戦してもらうために、広報活動は非常に皆さん力を入れて、大変苦勞されていると思いますが、効果的な広報活動について、色々なものに取り組みされていて、難しい点も含めてコメントをお願いします。

■織田

まず、何を広報するかが大事ですが、選手の顔を皆さんに知ってもらうのはもちろん、我々フロントとしてはそれに匹敵するぐらい大事なものは、試合があることを知っていただくことです。今我々がクラブとして取り組まないといけなことは、コアなサッカーファンの皆さんだけでなく、いわゆるライト層というか、年に1試合か2試合観に来ていただける方、あるいは、関心はあってもまだスタジアムには行ったことが無い方に来ていただくために、どういう試合告知をするかということです。我々の力不足ではありますが、いつ試合があるかをご存じない方も多いのです。それをどういうふうに告知していくのか、パッと思いつくのは、テレビでコマーシャルを流せばいいのではないかとされたりしますが、テレビは意外にコストがかかるし、30秒ほど、例えば15秒ほどサンフレッチェの試合のスポットを、スマップさんのコンサートみたいに1時間に何回も流せば別ですが、我々の予算で遅い時間帯に、ある局で2本、3本と流してもらったところで効果は無いし、そっちにお金を使うよりも、今後取り組みたいのは、PRサポートショップというサンフレッチェを応援してあげようというお店が増えてきたため、そういうところにもっと働きかけをして、そこをお願いして、いまでもポスターを貼ってもらっていますが、もっとそういうのを増やしていただく、あるいはお店をご紹介いただく、とにかくサンフレッチェの試合があるという情報を、至るところにばらまけるように、今からやっていければ良いと思っています。



■岸房

私達も、いつ試合があるかということはどう伝えたらいいか、なかなか難しいことです。まだまだバスケットボールについては、新聞で取り挙げていただく機会が野球、サッカーに比べたら少ないです。今年の秋から始まるBリーグはその辺りにかなり力を入れて、リーグ全体としてやってくれると思うので、少しは違ってくるとは思いますが、まだなかなか難しい。私達も、今年、事務所がサンフレッチェさんの事務所に近いマリーナホップということもあって、結構色々なことで教えていただきながら、ご指導いただきながらやっているところです。先程のPRのサポートショップも今、徐々に増えてきています。あちこちでのぼりを立てていただいて、試合のスケジュールを貼っていただく、ポスターを貼っていただくと、こういうこと等を更に今後増やしていきたいと思っています。それと、私どもはまだまだ、CMやTV出演という機会が少ないので、facebookとかtwitterとかでもHPと同じような情報を流して、見ていただく機会を増やそうと、今取り組んでいるところです。何が効果的であるかは、まだなかなかわからないと思いますが、少しでも観ていただく機会を増やそうということで取り組んでいます。

■森島

自転車の場合は、ロードレース観戦は有料ではないですね。

■堀

自転車のロードレースは公道を利用しているので、どなたでも観ていただける利点があります。逆に入場料などは取れないため、スポンサーで賄っていたりします。まずは観てもらおうことが一番なのですが、広島近郊の場合、残念ながらレース会場は広島空港横の中央森林公園となります。ここまで出向いていかないと観れないし、おそらく、そこでロードレースをやっていることも知られてない、ロードレースがどのようなかたちで観れるのかもわからない状況ですから、まずはここでやっているという告知活動をしっかりとするしかないと思います。効果的であれば、media mixはもちろんなのでしょうけれども、全国の、日本でまずは勝つこと。これ以上のことはないのしょうけど、足で稼ぐことです。自転車乗り、サイクリストはSNSをよく使うのですが、SNSの発信力が非常に強いです。だけど、こればかりやっても所詮サイクリスト、自転車を好きな人にしか伝わらない。自転車を知らない人に観てもらおうと思えば、やはり、身近にロードレースを観れる環境を早くつくること、これしかないなと思います。

■神村

みなさん、私たちと同じようにされているのですが、広報活動と動員は重なると思うのですが、試合の前に子どもたちのサッカー大会を企画したり、年配の方向けにグラウンドゴルフ大会を行って参加料をいただく代わりに大会後に試合を観てもらおうといった取り組みをしています。お年寄りからすれば、男子のサッカーのスピード感と比べると女子は少しゆっくりした試合の展開となるため、女子のサッカーもいいなという声は昨年がありました。そういった見方で、グラウンドゴルフ世代を今年は攻めてもいいかもしれないと思っています。同じようにfacebookを使ったり、幟を掲げてくれるサポートショップ活動もやっています。横川や三篠の地域でもっと、サンフレッチェ・アンジュと旗が並んでいくようになったらいいなと思っています。



■森島

特に入場料を取るスポーツになると、やはり試合告知というのが非常に重要であるわけですが、広島だと試合日程が重なるという難しい現状があることがわかります。

活動拠点としての広島がどう評価されているか、という話を伺いましたが、サッカーもバスケットボールもそしてロードレースも全国を転々とする中で、ホームとアウェイ、ビジターの違い、相手チームの環境、自治体に行った時の状況、サポーターの状況、相手チームの状況も含めて、もし特徴というか、こんな違いがあると気になった点があれば、ご紹介いただきたいと思います。

■神村

昨年のオープニングがアウェイのAC長野パルセイロレディース戦でした。長野県はJリーグのチームが松本と長野の2チームあります。他のスポーツはウィンタースポーツがあるくらいで、ほとんどサッカーオンリーのようでした。そのために素晴らしいサッカー専用球場ができていました。桃の畑を潰してサッカー場を作ったと聞きましたが、男子の長野パルセイロとサポーターは重なっているのだと思いますが、すごい人数で、なでしこリーグとしては珍しいくらい多く、1500~1600くらいは観客がいたと思います。すごく近くでサッカーのプレーを観れました。陸上競技場があるとトラック分だけ遠くになりますが、ここはないのですごく身近に観れてよかったです。広島も平地でもっと土地があればなんと悲しい気持ちになりましたが、とにかく、動員数にはびっくりしました。ただ、なでしこ1部のチームでもホームの球場がないところがあり、お互い苦労しながら女子のチームはやっています。動員数も必ずアップしなければいけないので、みなさん頑張っています。1部はほとんど有料ですが、2部のチームはどうしても会場費が払えないということで無料のところもあります。いい球場を借り有料試合とすると、会場費が上がります。それゆえに、無料試合とするチームもあります。動員がなかなかかけられないということで、動員のやり方はなでしこ1部のチームでも随分苦労しています。それを思うと2部でありながら、アンジュヴィオレ広島は本当に地域のボランティアの方々の支えで成り立っていると思います。あっちこっちで頑張っていて広報してくださっているのだなと、ひとりひとりがしてくださっているのだなと思います。少しずつ動員数も増えてきています。

■森島

私も、サンフレッチェの全試合見に行くようなサポーターだったのですが、よく浦和のホームゲームではすごいなあと思っていました。バスケットボールもビジターとかあるわけですが、皆さんアウェイとして乗り込んで、印象的な地域はありますか。

■織田

印象的な所は中国です。アジアチャンピオンズリーグで中国に行ったときは大変です。3月23日にホームでACLを戦いますが、火曜日の夜なので、集客がかなり厳しいことが予想され、5000人来ていただければありがたいというところですが、中国では平日でも3万人・4万人集まってくるので、すごく強烈でした。すごいアウェイ感というのを感じました。



■岸房

やはり、強くなくてはいけないと実感しています。特に、今、リンク栃木というチームに田臥選手というNBA経験のある有名な選手がいて、トップ争いをしています。そこまで強くない時の観客動員数と今現在を比べると、はるかに増えています。やはり、がんばって勝つことが一番大事です。負けこんでいるチームは観客数が少ないということを感じます。プロですから、勝たなくてはなりません。惜しい試合をしたから良かったということだけではダメなんだなと特に感じています。

■堀

他の皆さんとはちょっと違い、ロードレースの場合はホーム・アウェイがそこまでは感じられません。(私だけ感じなかったのかもしれないですけど)

たとえば、我々ヴィクトワール広島はオレンジ色のユニフォームで戦っていますが、地元広島でレースがある時は、スタート時に最前列に並びます。他県でも一緒です。

例えば宇都宮の大会であれば宇都宮ブリッツェンが最前列に並びます。それで選手の紹介をし、披露していくといった文化があります。称えるという文化ですね。これはヨーロッパのロードレースがまさにそうであり、日本も踏襲しているということです。

ですから、何が違うかということとその会場の色が違います。エディオンスタジアムでのサンフレッチェの紫と一緒にです。

今回中央森林公園でのレースでは、本当にオレンジ色に染まりました。ファンの人たちがたくさん、応援してくれました。ですが、やはり関東に行けば、まだまだ人気のあるトップレベルのチームはその染まり方が違います。この辺は、我々のやる気であったり、まだまだチーム規模等の格差だと思います。

ただ、勝った選手には、同様に称えるというのがロードレースの文化です。もちろん悔しさもありますけども、勝ち方が素晴らしければすばらしいほど、その人を認める、そのチームを認めるというのが、目に見えて少し違うところかなと思います。

■森島

私も昨年の森林公園のレースではオレンジの T シャツを会場で購入して応援させていただきました(笑)。

プロとアマチュアの違いや、試合、大会の運営等も異なるとは思いますが、チーム・団体の運営、試合の運営など、選手の関わり方や、いろんな人手がいるというお話がありました。ボランティアなど支援される方がどのように関わっているのかという点についてお願いします。

■織田

私はサンフレッチェの前のアマチュア時代のマツダの時代の選手だったので、当時は試合する時に選手が会場を設営したりということがありますが、プロになってからは選手が設営するということは一切ありません。ただ、さすがに森保監督に手伝わせるわけにはいけません、サッカースクールの若いコーチ達には試合終了後に会場撤収を手伝ってもらったりしています。試合運営の方も、基本的にはほとんど専門の業者さんをお願いし、警備や誘導をお願いしています。

だいたい一試合あたり平均で、関わる人数が400~500人います。ボランティアの方の力も絶対必



要で、現在、平均で70名ぐらいの方にお手伝いいただき、入場者のチケットのもぎりや会場内での誘導などを手伝っていただいています。ボランティアの方も我々にとっては貴重な戦力になっていただいています。

■森島

ボランティアの方の増減や、年齢層等に特徴がありますか。

■織田

増減はそれほどないですが、私が見る限りでは、わりとご年配の方が頑張ってくださいています。

■岸房

バスケットでは、体育館が会場の場合、1階のフロアにシートを敷き、イスを設置しないといけません。そのため設営・撤去・運営という形で、相当ボランティアの方をお願いしております。だいたい土日を中心に試合がありますから、1節に150人ぐらいのボランティアの方に来ていただいて、チケットのもぎりとかいうものも含めて運営をしております。ボランティアさんの力が無いと、まだまだ自前で全部そこまでやる、という所までいっていませんので、ボランティアさんのおかげで何とか興業ができています、というところですよ。

■堀

契約形態でいいますと、選手・スタッフ、皆さん仕事を持っています。国内のトップカテゴリーで戦っているチームとはいえ、まだまだそんなに認知もされていませんし、スポンサーも我々の努力不足もあってなかなか資金繰りが難しい状態です。そんな中で仕事を持ちながら日々の練習を行い、そして土曜日・日曜日に出られるレースのポイントを絞って、編成をしております。その編成はスタッフが出来るときはやりますけど、選手でもやっています。F1サーカスというのがヨーロッパにありますが、日本中をそういったチームカーで、もしくは自費で、飛行機で行ったりしていますけど、契約形態の中では一部我々の方で負担できますが、基本的には選手の皆さんの負担、それとボランティアの人たちで賄っているというのが現状です。

■神村

アンジュヴィオレは全員がボランティアです。役員もほとんどがボランティアです。組織の中のボランティアのメンバーが50人ぐらい。それから募集して、昨年からはボランティアとしてお手伝いいただいている方もいます。試合では担架要員やボールガールなど、高校や大学のサッカークラブがずっと手伝ってくれていますので、それをプラスすれば100人ぐらいの人数でやっていますから、ボランティアが一番大事です。

■織田

我々も試合前日の設営と、試合が終わった後の撤収は事務所のスタッフもやっています。試合中は、それぞれ営業担当はVIPのお客様の対応であったり、運営担当は試合の運営、と必要なんですが、前日



と試合が終わった後は、経費節減という意味ももちろんありますが、もう一つはクラブとして、会社としての一体感ですね、我々が選手のために一生懸命試合の運営をするんだ、という気運醸成のためにやっていますし、私もやっています。

■森島

やはりボランティアの関わりが非常に大きいという所だと思います。例えば海外のそういうボランティアの運営というのはあるんでしょうか？自転車はありそうですね。

■堀

海外で言えば、ツールドフランスはテレビ等で皆さんみたことがあるかと思いますが、「我々の村にツールがやってくる」というのは何十年に一回しかやってこないツールですから非常に名誉なこと、誇りです。距離にして3千から4千キロ。高低差は2千メートル以上、その世界でナンバーワンのカテゴリーのロードレースが正にボランティアで成り立っています。もちろんヨーロッパには文化がありますから、スポンサーの金額ももちろん大きいです。でもそれを払っている・支えているのはボランティア、ファンの人達です。

■森島

私もアンジュヴィオレの試合の運営ボランティアをしていますが、これは楽しくて仕方がないです。今は得点係というものをやっています、電光表示板の得点を入力したりするお手伝いをしています。こういう経験ができるのは地域のまだまだ小規模なクラブチームならではの経験なのかもしれませんが、普段、この辺の近所で活動しているおじさんなんかと一緒に審判の補助についたり、設営後のゴールポストを計ったりしていて、今までサッカーをほとんど見にいっていなかったおじさん達の頭の中に、ラインの幅とかの寸法がきっちり入っていて、がんばっている。クラブチームの運営に関わること自体が、日頃の子どもの世話とか、地域の活動の延長線上みたいな形で非常に生き甲斐になっているというのを、自分自身の活動を含めて実感しています。そのため、これだけのチームが広島あるということは、こうした機会・チャンスも多いということだと思います。こういった面でも、いろいろ携わる機会が増えて、一般の人も手伝えることがあるということを知ってもらえれば、よりチームへの愛着も増えるのではないかと感じたところです。では、会場の皆さんの質問を受け付けたいと思います。いかがでしょうか。

■一般参加者

本日は楽しいお話を有り難うございました。せっかく建設コンサルタンツ協会さんプレゼンツということなので、スポーツとまちづくりに絡めて、理想のハードについてお伺いできたらと思います。先程アンジュヴィオレさんが長野県のお話をされていたり、ヴィクトワールさんが古民家のお話をされていたんですけど、練習場であったり、あるいは子ども達の世代の練習環境であったり、あるいはトップチームのスタジアム・アリーナ・競技場の話でも良いので、お伺いできたらな、と思います。



■岸房

バスケットボールの場合は、新リーグに入会するにあたって、基準がありまして、5000人規模のホームアリーナがあり、年間のホームゲームの8割が開催できることが条件でした。広島の場合はグリーンアリーナやサンプラザもあります。他のチームでは全くないところもありました。マスコミを賑わせた秋田県では秋田県知事が3000人規模で潤っているじゃないかと、しかし川口チェアマンは譲りませんでした。なぜバスケットボール王国の秋田県が3000人で満足するんですか。なぜ、5000人、10000人にしようと思わないんですか。それが改革ではないんですかと。結局秋田県は新しく作ることになりました。そういったチームがありました。島根県も5000人規模の体育館を計画中です。多額の税金を使って、それでも地域の活性化に役に立つということなんですが、そういった面では非常に恵まれている。ただ、8割とれるかが心配でした。特にグリーンアリーナはいろいろなスポーツが入っていますので、サンプラザの方が、少し余裕があって、何とか8割確保できそうなので新リーグに認められました。そういう意味で広島はスポーツ王国でスポーツに理解があるということで恵まれているなと感じました。

■織田

皆さんがご期待されていると思います。ただ、そういった生々しい話ではなく、理想の話をしますと、場所は別として、エディオンスタジアムはサッカーを中心に考えると芝生のピッチからスタンドまでが遠く、意地悪を言うと双眼鏡がいるぐらい。臨場感が足りないということを見ると、やはりサッカーを見ていただくことに限ればスタンドとの距離が近い専用スタジアムがあるといいです。ただ誤解していただきたくないのは、よくよく言われるのが、年間20試合で20日しか稼働しないじゃないか。そんなものをつくってどうするんだと。サンフレッチェの試合は20試合ですがサッカースタジアムが出来ればアンジュヴィオレさんの試合、あるいはサッカースタジアムの広さがあればラグビーの試合も可能です。もっと言えば広島の場合は高校サッカーも盛んですから、ただ1回戦から使われると芝生が傷んでしまいますから、準決・決勝ぐらいならできるのではないかと思います。もう一つは、今エディオンスタジアムで、年に1、2回コンサートがあります。その際にパレットが敷かれ、芝生が傷むので嫌だなと思っていたのですが、芝生のメンテナンスの技術、パレットの技術が向上して、コンサートのあと1週間後に試合をやっても何の影響もありませんでした。ですから、サッカースタジアムの中でさまざまなイベントを開催することも可能になったと思います。

また、スタンドの下に、ビジネスラウンジやレストランがあれば、商談に使ったりできますし、一般のお客さんの利用もできる。今からつくるのであれば、サンフレッチェのためだけ、アンジュヴィオレのためだけに造るのはナンセンスだと思います。みなさんが楽しめる365日稼働できるスタジアムとすることは可能だと思います。そういうものをつくってほしい。もっといいですと、芝生のグラウンドは大人が走ると傷みますが、幼稚園の遠足に来てもらって芝生のグラウンドを裸足で走り回って、レジャーシートを敷いてお弁当を食べてもらっていいと思います。広島のため、まちづくりのためにもサッカースタジアムあった方がいいなと思います。

■岸房

一年ですぐに上がりたいと考えています。サッカーと同じように準優勝以上は自動昇格ということで



すし、3位は入れ替え戦があるということですので、今のチーム力を維持できれば、昇格できるのではないかと期待しています。スポーツ王国と言われていますが、広島でもっともっと子ども達に何かのスポーツをやってもらって、子ども達の健全育成に貢献できればと思っています。スポーツの力で人を結びつけたり、いろいろな力があります。今日もお話ししましたように、スポーツで各地域を活性化したい、県や市町でチームがたくさん増えているということで、スポーツは人を育てることができる。夢を与えることができる。感動することができる。スポーツの力を活用して、よりよい広島県づくりに貢献していきたい。子ども達の健全育成、みんな地域社会に関心をもってもらおう。スポーツでひろしまを誇りに思ってくれている人もたくさんいると思うのですが、もっともっと増やして、ひろしまという地域に関心をもってもらい、よりよい社会づくりに貢献していきたい。そのために私たちはスローガンに示していますように「広島にバスケでつながる風景を」と、バスケットでつながっていききたい、それぞれのスポーツが繋がって、スポーツの大きな輪をつくっていったら、もっとよい広島県になるのではないかと思います、がんばっていききたいと考えています。

■堀

我々を知っていただくこと、これにつきますと思います。そのためにも、広島市中心部でロードレースを開催したい。それに向けてがんばっていききたいと思います。

■森島

ぜひ、広島を中心市街地でロードレースを観てみたいですね！期待しています。

■神村

アンジュヴィオレはなでしこリーグ1部昇格が一番の目標です。皆さんと一緒に喜びたいと思っていますし、選手達もそう思っていますので、来年度は絶対に昇格します。よろしくお願いします。

■織田

サンフレッチェ広島は広島のみなさんに支えられているクラブです。ですから、皆さんの応援あってということですので、皆さんのために力を注ぎたいと思います。昨シーズンは良い成績を残せましたが、今シーズンにとって何の保証にもなりません。今シーズンはACLもありますし、厳しい日程となり長距離移動もあり、タフな戦いが続くことは間違いないです。ただ、選手に言っていることは、弱音を吐いても仕方がないので、それを力に変えていこうということで、我々はタイトルホルダーではありますが、あくまで今シーズンもチャレンジャーとして、タイトルにチャレンジしていきたいと思っています。皆さんの応援が力になりますので、エディオンスタジアムに足を運んで選手の後押しをしてください。

■森島

皆さんのおかげで、各チームの地域への熱い思いが聞けたのではないかと思います。

私も関東で15年ほど暮らしていましたが、最近は特に、カープ女子もすごいです、サンフレッチェのアウェイ会場でもすごく人が増えていると思います。私が応援している頃も、レフトスタンドやアウェイ側ゴール裏はさながら広島県人会状態になっていました。最近、東京広島県人会が一般社団法人



化されたのですが、広島県出身ではない方もたくさん入られていて、現在、広報誌の編集委員をされている方も、何年間か広島の支店に勤務されていた方が、広島でカーブを見て、サンフレッチェを見て好きになって、広島が大好きになり、広島を離れても広島に関わりたいという想いで携わられています。広島で暮らしているとわからないかもしれないですが、それくらいスポーツへの応援も熱く、魅力的な街なんだと感じたところです。

我々は建設コンサルタントということで、先ほど、良い質問をいただきましたが、ハードもそうですが、都市計画や地域振興などの仕事もしています。私たちが今日いただいた意見、知見を活かして、技術で地域に貢献できるよう活動していきたいと思えます。本日は貴重なご意見をいただき、また、たくさんの方々に参加いただき、ありがとうございました。



中国新聞 2016年1月30日 土曜日 セ社会・総合 セレクト 6ページ



広島のスポーツ文化について語り合うパネリスト（広島市西区の横川シネマ）

スポーツ「王国」広島を語る

サッカーバスケット自転車陸上の関係者
国内トップレベルのさまざまなスポーツが栄える広島。週末はこの応援に行こうかと悩むほどだ。そうした環境は、まちや住民にどんな影響を与えるのかを語り合う「まちトーク2016」（建設コンサルタント協会中国支部地域計画委員会主催）が23日、広島市西区の横川シネマであった。クラブの関係者からは展望や目標、課題が飛び交った。（増田泉子）

観戦の選択肢は幅広い
地域行事に選手を派遣
都心部レース開きたい
堀 啓二

「プロスポーツの盛んな広島で活動していて、感じるところを聞かせてください。」
岸房 多々のプロ野球チームがキャンプを張る広島では、お金を払ってスポーツを見る文化がなくて嘆いていた。広島はそれに比べ、地元メディアの報道態勢が確立している。
織田 カープが県日産が重ならないよう調整できないかと言われるが、リーグ内の調整は難しい。市民は、選抜競技が多いことを楽しんでほしい。
神村 子どもたちはいい環境。運動能力の向上につながる。試合の運営はすべてボランティアで賄っている。関わる機会を増やせ、愛着も深まると思う。
尾方 県外からはほらやましがられる件は、ホリデーに千人規模で来た。広島市にはクラウンプラザ（田中）と

か。トップ広島もつとできることがあろう。五輪選手を広島から何人も出せよう。プロアマとも地域で盛り上げようという意気込みならいい。
堀 自転車の活動拠点としての広島だ。
堀 自転車は活動拠点としての広島だ。だが走る環境としては、車、自転車、歩行者の道路空間の区分けが十分で、ワーストに近い。マナー、気遣いも求められる。
岸房 秋に開幕するJリーグの観客数は、ホリデーに千人規模で来た。広島市にはクラウンプラザ（田中）と

- パネリストら**
- ▽パネリスト
▽サッカーJリーグ サンフレッチェ広島 織田秀和社長
 - ▽バスケットボール男子広島ドラゴンフライズ 岸房康行社長
 - ▽女子サッカーなでしこ広島 アンジウイオレ広島 神村登紀恵理事
 - ▽自転車ロードレースプロチーム ウィクトワール広島 堀啓二アシスタント
 - ▽広島経済大学 尾方剛
 - ▽広島県立総合研究所 中田博
 - ▽建設コンサルタント協会中国支部 森島誠司地域計画委員長

後発組で集客など苦労
トップスもつと活用を
岸房 康行

広島サンブラザ（西区）があり、恵まれて。Jリーグの試合は年20試合程度。サンブラザのためにアジアを造るのはアセンタと想。アシメ、高校サッカー、ラグビーでの活用に加え、芝に負担をかけないイベント開催の検討も向上して。商談の場、レストランといった年間通して稼働できるスタジアムがあったらいい。

「地域に貢献するため、どのような活動に取り組んでいますか。」
織田 選手の派遣が多い。喜ばれているのは学校訪問。野津田岳人選手が通っている井口小（南区）に笠原選手が訪れ、一緒に給食を食べたエピソードも

「集客、スポンサー集めなど苦労も多いと思います。課題は何か。」
尾方 中国の代表は博定。中央

プロ隆盛 データで裏付け

森島さんの集計によると、JリーグサッカーのJリーグ（男子）③、なでしこリーグ（女子）、バスケットボールの④Jリーグ（男子）、⑤Jリーグ（女子）、⑥Jリーグ（男子）、⑦Jリーグ（女子）、⑧Jリーグ（男子）、⑨Jリーグ（女子）、⑩Jリーグ（男子）、⑪Jリーグ（女子）、⑫Jリーグ（男子）、⑬Jリーグ（女子）、⑭Jリーグ（男子）、⑮Jリーグ（女子）、⑯Jリーグ（男子）、⑰Jリーグ（女子）、⑱Jリーグ（男子）、⑲Jリーグ（女子）、⑳Jリーグ（男子）、㉑Jリーグ（女子）、㉒Jリーグ（男子）、㉓Jリーグ（女子）、㉔Jリーグ（男子）、㉕Jリーグ（女子）、㉖Jリーグ（男子）、㉗Jリーグ（女子）、㉘Jリーグ（男子）、㉙Jリーグ（女子）、㉚Jリーグ（男子）、㉛Jリーグ（女子）、㉜Jリーグ（男子）、㉝Jリーグ（女子）、㉞Jリーグ（男子）、㉟Jリーグ（女子）、㊱Jリーグ（男子）、㊲Jリーグ（女子）、㊳Jリーグ（男子）、㊴Jリーグ（女子）、㊵Jリーグ（男子）、㊶Jリーグ（女子）、㊷Jリーグ（男子）、㊸Jリーグ（女子）、㊹Jリーグ（男子）、㊺Jリーグ（女子）、㊻Jリーグ（男子）、㊼Jリーグ（女子）、㊽Jリーグ（男子）、㊾Jリーグ（女子）、㊿Jリーグ（男子）



2. 観光ガイドブックの作成

2.1 作成概要

以下に示す方針を踏まえ、「観光ガイドブック」を作成した。

- ・広域から「広島を訪れる観光客」、特に外国人観光客を意識にした「観光ガイドブック」とする。
- ・観光客に対する情報提供ツールとして、A5 サイズのガイドブック（冊子）とし、インフォグラフィック等の技術を用いて極力文字の説明がなくても理解できるものを目指す。
- ・全体テーマの「やさしいまちづくり」を基本としつつ、普段の業務で携わらないような面白いテーマを建コンならではの切り口から整理した楽しいツールをつくる。
- ・外国人向けのガイドブックであるため、英文の記載を行う。

2.2 作成方法

各社が冊子の見開き 1 ページを担当した。紙面の構成は以下の通り。

表 紙面割と担当会社

内容	担当
表紙、裏表紙	長大
目次等	復建
広島の情報	福山
市電で巡る広島市街地 ～被爆建物めぐり～	荒谷
水の都 広島を巡る	復建
ぴーすくるで GO! 広島駅北七福神巡り	中電
広島市内島めぐり	長大
Night View Map	福山
市電で巡る広島市街地 ～広島でサブかるを楽しもう～	いであ、サーベイ、地域未来
広島県内 多久野島と竹原の日帰り旅行	いであ、サーベイ、地域未来

ベースとなるデータは各社が作成し、復建を窓口として、印刷用データの作成と印刷製本はデザイン会社へ依頼した。

2.3 作成結果

次頁以降に作成したガイドブックを示す。



Tour of downtown in Hiroshima

ひろしまうらまちめぐり

MAZDA ZOOM-ZOOM スタジアム
MAZDA ZOOM-ZOOM Stadium

うらまち Back Street

原爆ドーム
Atomic Bomb Dome

宮島
Miyajima

有名な観光地
Major Tourist

ひろしま
うらまちめぐり

Tour of downtown in Hiroshima

編集／一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 中国支部 技術部会 地域計画委員会

ひろしまうらまちめぐり

Tour of downtown in Hiroshima

建設コンサルタンツ協会 中国支部 地域計画委員会では、社会貢献活動として、平成25年度より「やさしいまちづくり」をテーマに掲げ、そこに居住する人や訪れる人にとっての「やさしさ」と「まちづくり」について考えています。

この度、「やさしいまちづくり」を支援するひとつのツールとして、「移動したい人へのやさしさ」に着目し、広島市内を中心とする少シコアな施設＝「うらまち」の案内ルートを、ピクトグラム等を活用することで、誰でも分かりやすい情報としてお示りするガイドブックを作成しました。

案内先としては、委員会メンバー各々が、一般的な観光情報誌にはあまり載っていないが是非ご紹介したい場所を、工夫して考えています。

本書により、ひとりでも多くの方が、広島で観光・散策などをされる際の参考になれば幸いです。

This guide book doesn't only introduce famous tour spots in Hiroshima-city, but also spots where local people love. We want you know "true attractions of Hiroshima-city" not in any other guide books. We hope this book make you feel "I will come back to Hiroshima again."

目次 Contents

広島の情報
What is Hiroshima? 2

市電でめぐる広島市街地～被爆建物めぐり～
Move Around Hiroshima By STREET CAR～ A-Bombed Buildings etc.～ 4

水の都 広島を巡る
Let's take a Gangi Taxi～ Recommended spot near the Atomic Bomb Dome～ 6

びーすくでGO! 広島駅北七福神巡り
The Seven Gods of Fortune 8

広島市内めぐり
ISLAND TRIP IN HIROSHIMA CITY 10

Night View Map 12

市電で巡る広島市街地～広島でサブカルを楽しもう～
Move Around Hiroshima By STREET CAR～ Enjoy Japanese Subculture～ 14

広島県内 大久野島と竹原の日帰り旅行
In Hiroshima Prefecture One day trip to OHKUNOSHIMA and TAKEHARA 16



水の都 広島を巡る Let's take a Gangi Taxi! ~ Recommended spot near the Atomic Bomb Dome ~

What's a Gangi Taxi?



広島川の川辺にある庵木をつなぐ水上タクシー。水の都ひろしまの新たな観光資源として注目されています。

Gangi Taxis are river taxis that operate on Hiroshima's river delta by using the numerous "stepped piers" called Gangi that are found on Hiroshima's river banks.

cost **500** yen~
time **10** min~
mode

NPO法人庵木組に電話しましょう。
庵木タクシーの運行状況は潮汐によって変わります。
事前にお問い合わせ下さい。
☎082-230-5537



Operation times of the taxis are affected by the river tides. Please inquire beforehand. Reservations are necessary on weekdays.
Inquiries to: NPO Houjin Gangi-gumi +81-82-230-5537

Nearby attractions 近くのお勧めスポット

Cafe/Restaurant/Bar/Pastry

1 元安川オープンカフェ

Motoyasu River Open cafes

平和公園のたくさんの緑や世界遺産の原爆ドームを眺めながら、都心の中で心を休めてみてください。
Please take a rest at the center of Hiroshima-city, watching the green leaves of Peace Park and Atomic Bomb Dome.



2 本通商店街

Hondori Shopping street

賑やかな本通り商店街。1本南に入ると、袋町があり、ちょっと変わった飲食店や雑貨屋、洋服屋などが立ち並びます。
Hon-dori Shopping Street is the commercial center of Hiroshima prefecture. On "Fukuro-machi Shopping Street" which runs south from the street, you can also shop around.



3 世界平和記念聖堂

Memorial Cathedral for World Peace

世界平和を祈念する場としてつくられた聖堂。海外の聖堂とは少し違った、日本の要素が散りばめられた空間を訪れてみてください。
The cathedral was built with a lot of elements of Japanese culture. Please visit to see the space.



4 京橋川オープンカフェ

Kyobashi River Open cafes

水辺を望み、緑に覆われたオープンカフェ。水の都のまちなみや路面電車などを見ながらひとやすみ。
How about taking a rest at this café? You can see the street cars from here. According to season, you can have oysters of Hiroshima.



9 猿猴橋

ENKOBASHI BRIDGE

江戸時代からこの場所に橋が架かっており、現在のものは1926年に架橋されたもの。由来は、猿または猿猴(カッパ)が生息していたからとさうです。猿子には猿猴の意が込められており、猿猴が毎年この橋の一部を壊すだけで済んだとさうです。現在復元工事で、2016年着完成予定。

There is a folklore that "Kappa" which is a monster has been under this bridge in old days.

10 縮景園

SHUKUKEIEN

1620年、浅野景長が別荘の庭として築成。作庭者は茶人・上田宗景。広い庭でゆったりするもよし、池に架かる多岐多様な橋を楽しむもよし。鷹ヶ崎公園。静養や遊覧などの生き物観察もできる都会のオアシスです。

The most famous garden in Hiroshima city. There are various plants and creatures in the large garden.

11 聖光寺

SHOKO-JI TEMPLE

起建は1394年。毛利徳元が泊まったこともあるとさう。大石内蔵助父子の供養墓があります。キレイな松山水の日本庭園や金色の観音様も見所です。

Japanese dry landscape garden "Kikensuiji" is very beautiful!

ぴーすくろでGO!

広島駅北七福神巡り

~ The Seven Gods of Good Fortune ~

mode cost **660** yen time **120** min

必見! 二葉山麓 七福神めぐり

我々を 探すのじや!

7 饒津神社

NIGITSU SHRINE

浅野景長の邸屋を建立したことがはじまり、1835年、別荘の場所に建てられた。橋のなる本町の端、その奥に広がる大きな丘(有馬山)。堂々と並ぶ鳥居、高さな鳥居が用いられた石垣は見物です。

Nigitsu-jinja was built with advanced architectural techniques.

8 明星院

MYOJO-IN TEMPLE

毛利徳元が子の邸屋として建立したのがはじまり。室内には必勝様土四十七体の木造が安置されているとさう。お地蔵様がお出迎えしてくれてまっごり。横に生えた立派な松も見所です。

Inside the building, forty-seven wooden figures of loyal retainers of "AKO".

9 鶴羽根神社

TSURUHANE SHRINE

起源は鎌倉時代。その名の由来は、社務所の二葉山の様子で羽根を広げた鶴の姿に似ているから。手水舎は数層塔楼として残っています。

The name of "Tsuruhane" which means "wings of crane" come from the scene of Mt. Futaba behind of jinja.

10 東照宮/金光稲荷神社

HIROSHIMA TOSHOGU SHRINE / KINKO INARI SHRINE

広島東照宮は1648年、徳川家康の遷葬を記念して建立された。施設上と立派な本殿があり、交遊新嘗(新嘗祭)など多くの人が訪れます。奥の二葉山に向けて進むと、金光稲荷神社があります。そこはまるで京都の伏見稲荷に似たように、1000以上の鳥居が並び、95000の石段を登ると市街が一望できます。

More than 100 TORII stand. After prayer, you can overlook Hiroshima city.

11 尾長天満宮

ONAGA TEMMANGU SHRINE

豊後国府が大分県に下る途中に建った場所と建てられたとさう。現在の本殿は、高瀬神社から移されたものです。人口の半を占めると学業成就などの効果があり、お参りする神主さんがお話ししてくれることも。

If you want good grades in school, let's stroke the figure of cow at the entrance.

12 國前寺

KOKUZEN-JI TEMPLE

本堂は1671年、尾長はそれより前から完成したもので、広島藩を代表する信濃の地蔵菩薩像です。どっしり底の重要な文化財に指定されています。

Kokuzen-jj temple is one of the important cultural property of Japan.



広島市内島巡り

ISLAND TRIP IN HIROSHIMA CITY

1 広島港 HIROSHIMA PORT

cost 1080 yen
mode bicycle
time 15 min

びーすくるの1日パスを購入し、サイクルポートで自転車をレンタル。広島港では、毎月開催されている「みなとマルシェ」をはじめ、各種イベントが行われています。



After purchasing one-day pass for "Peacecle" and you can rent bike at Hiroshima Port. Some events such as "Minato marche" are held at Hiroshima Port at times.



2 元宇品 UJINA ISLAND

元々は単体だった島が、現在は陸続きになった元宇品。海と自然が溢りなす風景に、広島市の中心部から約30分で巡り廻ることに驚かされます。



Ujina Island was an island in ancient days, but now it has been connected by land. You might be surprised the scene.

4 似島 NINOSHIMA-ISLAND

広島港に戻りフェリーに自転車を載せて似島へ。青い海が美しく、気分リゾートアイランド。広島名物の牡蠣の養殖風景や島のランチたちに心奪われます。



After going back to Hiroshima Port, please take a ferry for Ninoshima with your cycle. In the island, you can enjoy the cultivation of oyster a local specialty of Hiroshima.

3 宇品海岸 UJINA COAST

宇品海岸は、港海蔵庫を改築した複合商業施設「フレックスギャラリー」が立地。お洒落な雑貨や家具の販売、カフェやベーカリーなどが楽しめます。



"Flex Gallery" is a commercial complex in Ujina coast. You can buy some furniture and goods, breads, coffee here.

びーすくる1日パスの購入場所 Stand where the day-pass for bicycle are sold

びーすくるの1日パスは、広島港宇品旅客ターミナル内の観光案内所で購入可能。宇品周辺や似島をはじめ、広島港からの船の行き先の観光に関する情報を、こちらで提供しています。 You can get one-day pass for "Peacecle" and some information about sightseeing around Ujina and Ninoshima at the terminal.



11

11

1 黄金山 Mt.Ogon-zan



mode bicycle
time 30 min
cost 0 yen

ライトアップされた道路がともきれいな夜景スポット。3方向から広島の夜景が楽しめます。一原爆ドームから自転車で30分

Mt. Ogon-zan is the one of nice view spots in Hiroshima city. You can enjoy night view of lighted up road and scene of Hiroshima city from three directions.

3 原爆ドーム Atomic Bomb Dome

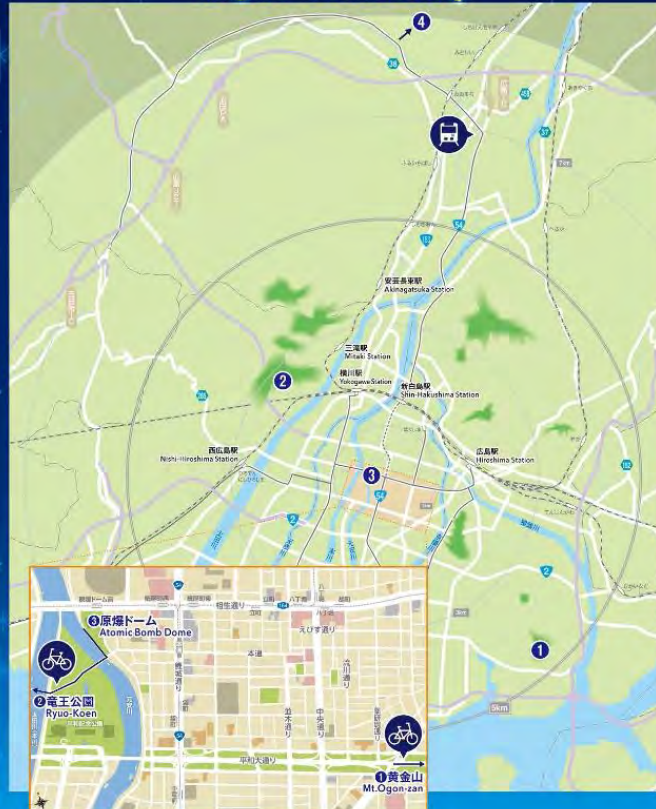


mode walking
time 5 min
cost 0 yen

ライトアップされた原爆ドームも幻想的で昼間とはまた違った雰囲気が体験できます。一本通駅から徒歩5分

Atomic Bomb Dome at night is different from it is in day-time. Lighted up dome will show you some fantastic sight.

Night View Map



2 竜王公園 Ryuo-Koen



mode bicycle
time 30 min
cost 0 yen

広島市街地を一望できる夜景スポット。ビジネス街がきれいな夜景に変わります。一原爆ドームから自転車で30分

Ryuo-Koen park is the park, from where you can get a view of whole of Hiroshima city. And buildings in business district become lamps of the city at night.

4 権現山 Mt.Gongen-zan



mode walking
time 50 min
cost 300 yen

広島市内を見渡せる夜景は大迫力。市内の夜景スポットの中でも人気です。アストラムライン本通駅から豊山門台駅へ20分そこら徒歩1時間

This mountain is a surefire spot for night viewing. From top of Mt. Gongen-zan, you can see the impressive night view of Hiroshima city.

12

12



市電でめぐる広島市街地 ～広島でサブカルを楽しもう～

Move Around Hiroshima by STREETCAR
～Enjoy Japanese Subculture～

mode

cost 紙屋町東 160 yen

time 13 min

紙屋町東 (Kamiya-cho Higashi) → 広島駅 (Hiroshima Station)

AREA MAP

広島城 Hiroshima Castle

別名「龜城」と呼ばれるとても美しいお城です。兜や鎧の体験もできます。

Hiroshima Castle, in another name "Kamejō" is very beautiful. In the castle, you can try wearing some Japanese armor.

サブカルグッズショップ Subculture Goods Shop

ホビー・コスプレ、書籍、同人誌など、マニアに嬉しいお店です。

There are many shops where you can buy hobby-goods, cosplay goods, "Dojin-shi" books.

至広島駅 To Hiroshima Station

原爆ドーム前 Genbaku Dome-mae (Atomic Bomb Dome)

至十日市町 To Tokaichi-machi

原爆ドーム Atomic Bomb Dome

筆者が好きなラーメン店 Favorite "RAMEN" Shop

ラーメンは、もはや日本の文化です。広島の中でも、美味しいラーメン屋がいっぱいあります。

Hiroshima city is full of delicious "Ramen" shops. Please, try them.

至広島港 To Hiroshima Port

ジャンプショップ広島 Jump Shop Hiroshima

「週刊少年ジャンプ」連載中の人気作品を中心としたグッズが揃った雑誌社オフィシャルショップです。

"Weekly Shonen Jump" is a famous manga magazine in Japan. Here you can buy a lot of official goods of "Weekly Shonen Jump", for example "DRAGON BALL" and so on.

広島県内 大久野島と竹原の日帰り旅行

In Hiroshima Prefecture One day trip to OHKUNOSHIMA-ISLAND and TAKEHARA

■竹原市に位置する「大久野島」は、瀬戸内海に浮かぶ周囲約4kmのほんの小さな島ですが、島中に愛らしい「ウサギ」が走り回っており、国内のみならず、海外からも注目度も高まっています。

■「大久野島」や、同じく竹原市内にある「竹原町並み保存地区」は、広島市から日帰りでお楽しみいただけます。

"Ohkunoshima-island" located in Takehara city is a small island about 4km in circumference in the Seto Inland, but Cute rabbits are jumping everywhere in the island, so this island attracts not only Japanese people but also travelers from overseas.

"Ohkunoshima-island" and "Historic Preservation Area" which call "small Kyoto in Aki" in another name is in the same city. So you can visit there and return Hiroshima city in one day.

新幹線こだま号	JRA線	JRA線	高速バスかやく姫号
広島駅 Hiroshima St.	三原駅 Mihara St.	忠海駅 Tadanoumi St.	竹原駅 Takehara St.
mode	mode	mode	mode
cost 2290 yen	cost 320 yen	cost 200 yen	cost 1180 yen
time 26 min	time 21 min	time 13 min	time 69 min

一 順 路
広島駅をスタートして、大久野島、竹原町並み保存地区を回り、広島駅に戻るルート
注意) 運賃は、各区间毎の金額です。時間は、便により若干の差違があります。時刻と運賃は片道です。

大久野島へ行く時のお願い!!
Rules of when you go Ohkunoshima-Island!!

- ウサギを追いかけまわしたり 抱っこしないで!
- 道路や道路脇 玄関前でのふれあいはダメ!
- ウサギの口もとに手をやらないで!
- ウサギにお菓子やパンを食べさせないで!
- ゴミをポイ捨てしないで!
- 島にウサギをすてないで!

- Do not chase or carry rabbits.
- Do not touch rabbits on the road, roadside, or in front of the entrance.
- Do not put your fingers nearby rabbit's mouth.
- Do not feed human food.
- Do not litter.
- Do not leave your pet rabbit in island.

大久野島 Ohkunoshima-Island

広島港からフェリーで12分
12-min. by ferry from Tadanoumi Port.

◆島に到着して船を下りると、さっそくウサギたちが出迎えてくれます。島内を歩くと、あっちもウサギ、こっちもウサギ。ウサギだらけで、とても癒やされます。

As soon as you get off the ferry for "Ohkunoshima-island", cute rabbits will welcome you. Even when you walk around the island, you can see many rabbits, it will make you so relax.

◆大久野島は、太平洋戦争時に日本軍の毒ガス製造工場があり、秘密保持のために地図からも消されていたという悲しい歴史を持つ島でもあります。今も島内の各所には、毒ガス貯蔵庫跡や発電機跡など、様々な瓦礫が残っています。

"Ohkunoshima-island" has sad history. In the period of World War II, there is a Japanese army's factory manufacturing gas, and this island was disappeared from the map for the secret. Because of that historical background, many ruins such as a "gas factory" and a "power plant" still remain in this island.

竹原町並み保存地区 Historic Preservation Area in Takehara

竹原駅から徒歩15分
15-min. walk from Takehara St.

◆町並み保存地区には、幕田で築いた江戸時代の豪商の家屋など、古い町並みが残っています。近年は古民家を使ったカフェやイタリア料理店がオープンするなど、古い町並みなのに新しい雰囲気もあり、散歩がとっても楽しいエリアです。

In "Historic Preservation Area" in Takehara, there are a lot of old buildings built in Edo era. These past few years, cafe and Italian restaurant renovated old buildings opened. Buildings and street are old, but we sometime feel something new, it will be fun for you.



3. まちづくり活動への参加

3.1 活動概要

まちづくりにおける団体運営の仕方や課題、改善に向けた提案等を整理するきっかけとするために、まちづくり活動に参加し、団体の支援等を行った。

3.2 参加報告

本年度は、「中国地方学生フォーラム」に参加した。

以下に結果を示す。

■「中国地方学生フォーラム」への参加

(1) 日時・実施場所

日 時：2015年11月28日(土)～29日(日)

場 所：安芸灘とびしま海道（芸予諸島）

主 催：中国・地域づくり交流会

企画協力：広島工業大学学生

参 加 者：メンバー10名

中国地方学生フォーラム
1 day 諸島トリップ ～僕達の週末ポタ～

2015年11月28日(土)
11月29日(日)

フィールド
「国道185号」および
「安芸灘とびしま海道（芸予諸島）」

若者が、中山間地域の現状を少しでも理解し課題解決や、魅力づくりのアイデア等をフィールドワークの中から探り、地域の活性化の一助になればと考える。
また、地域に暮らす人々に触れ合うことで、中山間地に興味を持ち、交流の輪を広げ中山間地域の創生につなげる。

スケジュール

11月28日	フィールドワーク 交流会	地域を散策し、魅力・課題の発見。 地域、他大学との交流。
11月29日	まとめ 成果発表	フィールドワークから得た情報を地図にまとめ、発表することで参加者全員で情報の共有をする。

主催 : 中国・地域づくり交流会
企画協力 : 広島工業大学学生
協力(予定) : (一社)中国建設弘済会、岡山国道事務所、広島国道事務所、福山河川国道事務所、呉市、竹原市、(一社)尾道市観光協会、島根県中山間地域研究センター、(一社)建設コンサルタンツ協会中国支部
問い合わせ先 : 中国・地域づくり交流会
[TEL]082-221-8505
[e-mail]ecc@c-haus.or.jp

チラシ



(2) 活動概要

- 今年で7回目を迎える中国地方学生フォーラムは、若者の目線で中山間地域等の課題解決や魅力づくりのアイデア等を探ることを目的に開催される中国・地域づくり交流会主催の体験型フォーラムである。
- 1泊2日の行程で、初日は学生とともに4コースに分かれての自転車フィールドワークを実施。2日目は、フィールドワーク結果を基に、各コース別にサイクリングマップや魅力的なモデルコースの作成に取り組んだ。
- 今回、広島県の「安芸灘とびしま海道（芸予諸島）」を対象に自転車によるフィールドワーク体験を行うということで、建設コンサルタンツ協会中国支部の一員として参加した。

(3) 自転車フィールドワーク

各コースの出発地点に用意された自転車は、広島市観光レンタサイクル“ぴーすくる（電動アシスト付自転車）”である。

初日は、美しい海道やおいしいみかん、優しい地元の方との交流など満喫して終了。



図 “ぴーすくる”の説明を受ける参加者

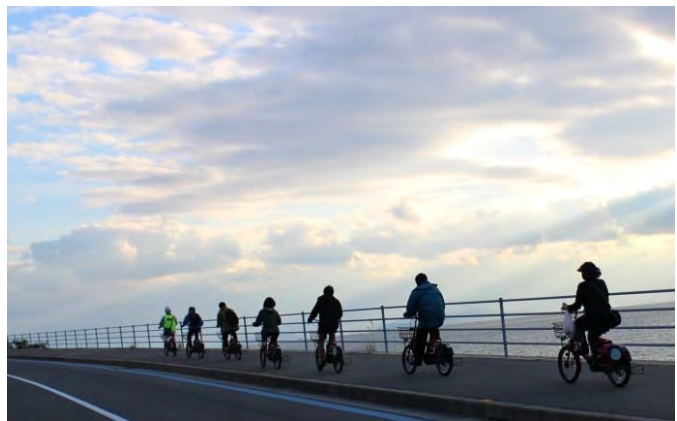


図 海道を快走する参加者

(4) ワークショップ

2日目は、朝から各コース別の班に分かれてワークショップ。安芸灘とびしま海道をPRするためのサイクリングマップやモデルコースづくりに挑戦。

最後に、安芸灘諸島の自然と歴史を活かした成果を各班別に発表。学生の発想力、プレゼン能力の高さに感心しつつも、これに負けじと建コンチームも参戦。皆で安芸灘とびしま海道の魅力再認識、閉会となった。



(5) さいごに

学生や関係者の皆様との交流は良い刺激となりました。このような機会をいただきました中国・地域づくり交流会の皆様へ感謝いたします。ありがとうございました。



図 発表①江戸時代にタイムスリップ



図 発表④日帰り満喫・女子旅ツアー



図 発表②シンデレラコース



図 発表⑤建コンチームも参戦！（海走）



図 発表③自然と伝統が融合する道



4. まちづくり出前授業

4.1 活動概要

広島市内の三篠小学校(西区)の総合的な学習の時間において出前授業を実施した。
内容は下記の通り。

テーマ	まち(三篠)のやさしさ(ユニバーサルデザイン)	大切なまち(三篠)の環境
講師	森島誠司(中電技術コンサルタント株式会社)	森島誠司(中電技術コンサルタント株式会社)
実施日	平成27年6月18日(2コマ)	平成27年11月6日(1コマ)
対象者	広島市立三篠小学校3年生 (児童130名+教員4名)	広島市立三篠小学校4年生 (児童100名+教員3名)
概要	JR横川駅を中心としたまちのUD整備について、PPTと実物サンプルを使った仕組みの解説やルールなどを説明	学校を取り囲む太田川(太田川放水路・旧太田川)や三滝山、竜王公園ゴミ埋立地等を通じ、自然環境・生活環境・3R等についてPPTで説明

4.2 実施報告

(1) まちのやさしさ

三篠小学校3年生130名に多目的教室に集ってもらい、パワーポイントと実物サンプルを用いた仕組みの解説や実験等によりユニバーサルデザインの意味や役割、きまりなどを説明。



車イスで90cmの幅を通ってみよう



透水性ブロックで実験してみよう



昭和56年三篠小学校卒業アルバムより

Chuden Engineering Consultants Co., Ltd.



昭和50年代の横川駅南口



自由通路でみつけたなぜ？

①自由通路でみつけたなぜ？

手すりがついてる・・・2段もある



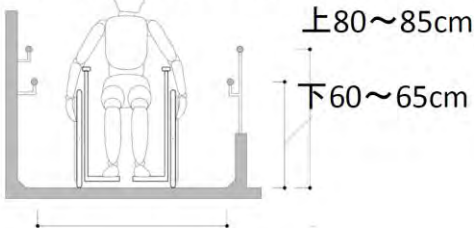
高さがちがうのはなぜ？
2本もいるのかな？



自由通路でみつけたなぜ？

どんな人が使うのかそうぞうしてみよう。

足をケガした大人？こども？
こしのまがったお年より？車イスの人？



体育館、くつ入れ、校舎の入口



手すりの太さはどれくらいがもちやすいかな？



太さは何センチくらいかな？
学校にもあったよね？？
どこにあったかな？？？



太さは4センチくらいがルール！

じゃあ、何でできているのかな？

木かな？鉄かな？？

さわりごちがよくて
冬に冷たかったり、
夏に熱くならないもの。

本物をさわってみよう！



自由通路でみつけたなぜ？

階段と坂がある





じゆうつうろ

自由通路でみつけたなぜ？

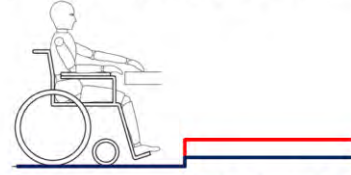
車イスで動くのは大変だ
・・・坂(スロープ)も急だとこまるなあ



じゆうつうろ

自由通路でみつけたなぜ？

車イスで動くのは大変だ・・・かいだん



ベビーカーやつえをついた人はどう？
平らにすればいいのに……

じゆうつうろ

自由通路でみつけたなぜ？

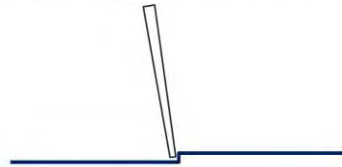
横断歩道のたん差は2cmのルール。
車いすは平ら(0cm)のほうがらくちんだ
よね。なんで2cmのたんさなんだろう……



じゆうつうろ

自由通路でみつけたなぜ？

目の不自由な人はつえで段になって
いるところを探して、どこから横断歩
道なのか知るんだよ。
たった2cmだけどとても大事なんだね。



ノンステップバス

東京は10台に8台、広島は2台のわり合い



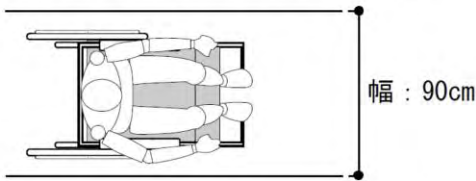
ワンステップバス





じゆうつうろ
自由通路でみつけたなぜ？

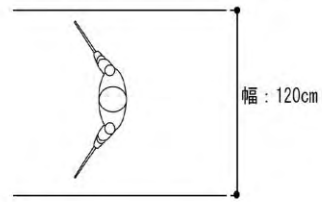
みちのはばには意味があるのかな？



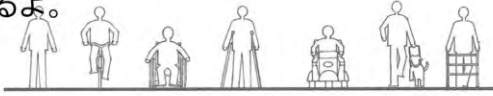
車イスはどれくらいのはばがあると
うまく通れるのかな？

じゆうつうろ
自由通路でみつけたなぜ？

まつばつえをついた人はどうかな？



スロープのはばは2メートルがルール。
でもせまくてどうしてもできないところも
あるよ。



	人（成人男子、 荷物等なし）	自転車	車いす	杖使用者（2本）	自操用ハンドル型 電動車いす	盲導犬	歩行器
静止状態	幅45cm	幅60cm	幅70cm	幅90cm	幅70cm	幅80cm	幅70cm
通行時	幅70～75cm	幅100cm	幅100cm	幅120cm	幅100cm	幅150cm	幅80cm

いろいろな人がきもちよく、ぶつから
ないように通るには広い道路がある
んだね。せまいところは？ ★

②通りでみつけたなぜ？

人が歩くところと自転車が通るとこ
ろがわかれているね。

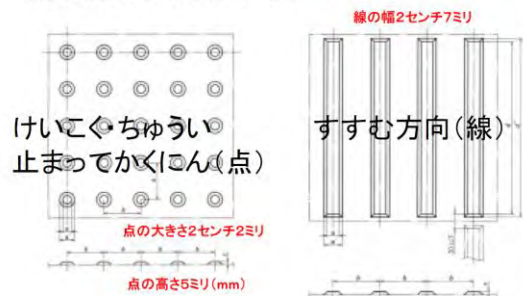


通りでみつけたなぜ？

ガタガタとスイスイ にぎやかとハッキリ



しかくしょうがいしゃゆうどうよう
③視覚障害者誘導用ブロック
点と線のかたちのちがいがい





しかくしょうがいしゃゆうどうよう
視覚障害者誘導用ブロック

なぜ黄色？ほかの色もある？



しかくしょうがいしゃゆうどうよう
視覚障害者誘導用ブロック

黒い道路だと黄色は目立つね！



しかくしょうがいしゃゆうどうよう
視覚障害者誘導用ブロック

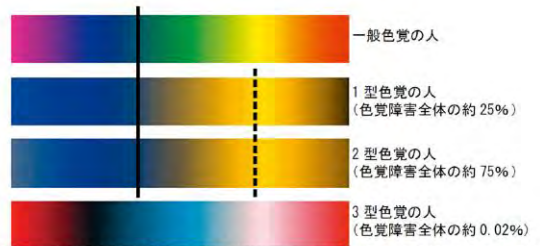
黄色と茶色・・・わかりにくい



💡色の組合せも大事！

でも黒色ではさむとどうかな？

しかくしょうがいしゃゆうどうよう
視覚障害者誘導用ブロック



注)この図版は最も程度の強い人の見え方をシミュレートしたもので、全員がこのように見えるわけではありません。



しかくしょうがいしゃゆうどうよう
視覚障害者誘導用ブロック

水たまりは楽しいけど
・・・安心して歩けるかな？
水たまりができない道路がある？
・・・じっけんしてみよう！



④見たことあるかな？

だれにでもわかりやすいマーク



④見たことあるかな？

色もたいせつだね！





横川駅でみつけたかな？



字がよめなくても、見ただけでわかる
・・・これもやさしさだね。



横川駅にあるいろいろないす。
どこがちがうかな？なんでかな？

⑤気持ちのいいまち・わくわくするまち
たのしくなるデザイン・くふう(ベンチ)
みんなで考えたデザイン



デザイン:(コンペ)
広島市立大学川島謙二郎

⑤気持ちのいいまち・わくわくするまち
目じるしになるデザイン
⇒横川にしかないもの・・・かよこバス！



⑤気持ちのいいまち・わくわくするまち



緑がいっぱいと気持ちがいいね。
遠くからもみえるね！

こかげもできるね！

⑤気持ちのいいまち・わくわくするまち

花がさいているときれいだね！



横川駅のまわりは「やさしくふう」が
いっぱいあるね。
みんなの家のまわりはどうか？
通学路はどうなっているかな？

点字ブロックや手すりがないところで困っ
ている人がいたらどうする？

やさしいまち・・・たのしいまち・・・すてきな
まち・・・だいすきなわたしたちのまち！



おしまい





(2) 大切なまち（三篠）の環境

三篠小学校4年生 100名に多目的教室に集ってもらい、パワーポイントにて三篠小学校区にある太田川放水路、三滝山、竜王公園埋立地等の環境について説明。



1 朝夕見上げる **三滝山**
 さくらももみじも 美しく
 やまふところが 大きな
 いつでも明るく よく遊び
 よくよく学ぼう 三篠の子ども

2 よるひる休まぬ **三篠川**
瀬戸内海へと ひとすじに
 清らにすなおに そそぐ水
 世界の海にも つらなると
 教えは尊い 小学三篠



写真 国土交通省
中国地方整備局
太田川河川事務所

三篠川ってどこだろう？



昭和10年くらいの川の様子



昭和39年10月頃



海水と真水(川の水)がまざるところ=汽水(きすい)



海の水はどこまでのぼっていくのだろう？



太田川のしおのみちひきは日本でも大きいほうで、最も大きいときには3~4mも差があるよ。



かんちょう(干潮)時のようす



まんちょう(満潮)時のようす

大潮(おおしお)のとき



台風のあとのようす



しおがひいたときに水の中から出てくる砂やどろの場所を干潟(ひがた)といいます。



たくさんの生き物がくらしています。



太田川しじみ！おいしいぞ！



放水路のしじみ！

貝は水をきれいにしてくれる！



川のまわりでは運動したり釣りや川探検もできるね！



でも、困ったこともあるんだ・・・
ゴミが捨てられているよ・・・
かなしいね・・・



一番多いゴミは自転車・・・

H24年度 不法投棄ゴミ種類別件数

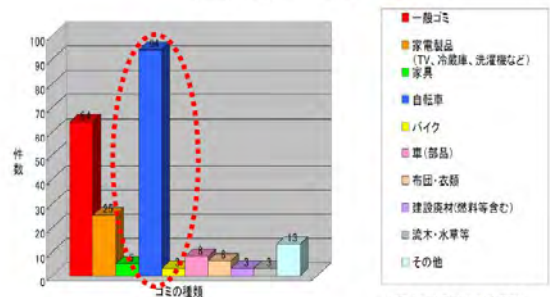


写真 国土交通省中国地方整備局 太田川河川事務所HP



川のかんきょうを守っている人も
いるよ！



川の水はどこから来るのかな？



広島市の水道水のほとんど(97%)
を太田川から取っているよ！



川の水はどこへ行くのかな？

校歌にも出てく
るね！

みんなが住んで
いるまちの中にも
川がかくれているよ！



下水(げすい)道という見えない川



打越公園で工事していたよね？



調整池(ちょうせいち)

地面の下深くに大きなプール！

川の水は山から湧き出てくる…
三滝山…登ったことあるかな？



昔はマツタケがたくさん採れたよ！

今は…山の様子が変わってき
たようだね。





山を守っている人もいますよ！



三尾山山まわりの学校

山は手入れが必要なんだね！



みんなが朝出したゴミ・・・
どこに行くんだろうね？



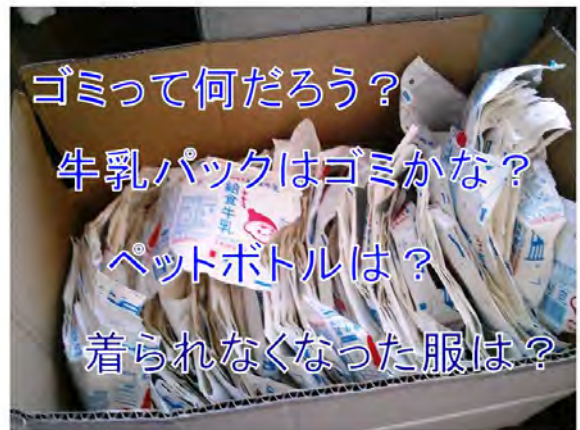
可燃(かねん)ゴミや資源(しげん)ごみ・・・分別って何かな？

竜王公園は、ゴミを埋めたあとにつくられたんだよ。



写真: 中国新聞社提供

昔は“水晶(すいしょう)谷”と呼ばれて、水晶が採れる谷でした。



ゴミって何だろう？
牛乳パックはゴミかな？
ペットボトルは？
着られなくなった服は？

宮城楽天スタジアム





三篠には大切にしたい「かんきょう」が
いっぱいあるね。

みんなは大切にしているかな？
やさしくしているかな？

みんなは学校や家や自分たちのまわりで
どんなやさしいことができるかな？



おしまい

平成27年(2015年)11月6日 三篠小学校4学年
総合学習(G.T)用資料
(たいせつなみささのかんきょう)
作成・講師: 中電技術コンサルタント株式会社
森島誠司
(山手町町内会長・広島市子ども会育成指導員)
資料: 国土交通省・広島市・中国新聞社



参 考 資 料

1. 活動メンバー一覧 参考- 1
2. 「まちトーク2016 スポーツとまちづくり」関連資料 参考- 2
3. 活動メンバー感想文 参考-10



1. 活動メンバー一覧 (50音順)

会社名(五十音順)	所属	氏名	TEL	FAX
㈱荒谷建設コンサルタント	地域デザイン部 地域計画課	長谷山 弘志 (hiroshi.hasevama@aratani.co.jp)	292-5486	296-5481
	"	田辺 博樹 (hiroki.tanabe@aratani.co.jp)	"	"
	"	岡本 隆彦 (takahiko.okamoto@aratani.co.jp)	"	"
	"	日向 雄人 (yuuto.hinata@aratani.co.jp)	"	"
いであ㈱	中国支店 陸園部 道路	松井 秀樹 (mti20946@ideacon.co.jp)	207-0143	207-0152
㈱サーベイ・リサーチ・センター	広島事務所 調査課	田中 純二 (tanaka_j@surece.co.jp)	227-7511	227-7558
	"	藤本 健二 (fujimo_k@surece.co.jp)	"	"
	広島事務所 世論計画課	三村 絵里 (mimura_e@surece.co.jp)	"	"
	"	萬関 明子 (manseki_a@surece.co.jp)	"	"
㈱地域未来研究所	中国四国事務所	田中 雅宣 (tanaka@refrec.jp)	568-6081	263-3403
中電技術コンサルタント㈱	営業部 営業企画担当	森島 誠司 (morisima@cecnet.co.jp)	256-3343	255-5601
	事業企画部	高田 禮榮 (takata@cecnet.co.jp)	256-3362	251-0302
	都市整備部 都市施設グループ	佐伯 隆之 (saeki@cecnet.co.jp)	256-3352	256-1968
	"	向井 敬治 (kmukai@cecnet.co.jp)	"	"
	"	藤岡 義久 (vfuiioka@cecnet.co.jp)	"	"
	"	織田 恭平 (k.oda@cecnet.co.jp)	"	"
	沿岸整備部 海域計画グループ	森山 弘将 (hmoriyam@cecnet.co.jp)	256-3351	256-1968
	道路部 第一グループ	錦織 真樹 (nsikoori@cecnet.co.jp)	256-3389	254-0661
	"	森井 紀裕 (mori@cecnet.co.jp)	"	"
㈱長大	広島道路交通・監理部	吉川 修司 (vosikawa-s@chodai.co.jp)	545-6541	545-6698
	"	久家 幸一郎 (kuge-k@chodai.co.jp)	"	"
	"	船田 尚吾 (funada-s@chodai.co.jp)	"	"
	"	前川 朝尚 (maekawa-t@chodai.co.jp)	"	"
	"	林 里樹 (havashi-s@chodai.co.jp)	"	"
	"	佐藤 裕治 (satou_yuujii@chodai.co.jp)	"	"
	"	鈴木 凜太郎 (suzuki-r@chodai.co.jp)	"	"
	"	山光 涼平 (yamamitsu_r@chodai.co.jp)	"	"
㈱福山コンサルタント	西日本事業部 交通計画グループ	竹野 剛 (takeno@fukuyamaconsul.co.jp)	502-8802	502-8803
	"	船本 洋司 (v.funamoto@fukuyamaconsul.co.jp)	"	"
	"	奥田 倫全 (m.okuda@fukuyamaconsul.co.jp)	"	"
	中四国支社 道路計画グループ	川村 宏範 (h.kawamura@fukuyamaconsul.co.jp)	502-8801	502-8815
復建調査設計㈱	事業推進本部 CIM推進室	亀田 雄二 (kameda@fukken.co.jp)	506-1820	506-1890
	道路・地域整備部	佐伯 達郎 (t-saiki@fukken.co.jp)	506-1874	506-1897
	" 地域計画課	天野 佑介 (y-amano@fukken.co.jp)	"	"
	"	笹岡 亮太 (r.sasaoka@fukken.co.jp)	"	"
	"	大塚 健裕 (k.otsuka@fukken.co.jp)	"	"
	" 開発技術課	小田 雄司 (f19089@fukken.co.jp)	506-1872	506-1897
ランドブレイン㈱	松江支社技術課	松下 真一 (matsushita@fukken.co.jp)	0852-21-7367	0852-32-2968
	広島事務所	三木 脩平 (miki@landbrains.co.jp)	223-6919	223-6929



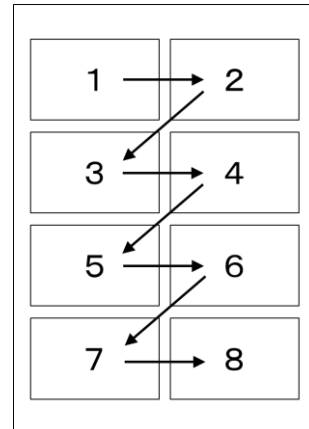
2. 「スポーツとまちづくり まちトーク2016」関連資料

ここでは、「スポーツとまちづくり まちトーク2016」に関する資料として、話題提供に用いられた上映資料を掲載する。

なお、各上映資料は、右下図の順に整理している。

【上映資料】

- ・織田氏 話題提供資料
- ・岸房氏 話題提供資料
- ・堀氏 話題提供資料
- ・神村氏 話題提供資料
- ・森島 話題提供資料





サンフレッチェ広島の理念

～サンフレッチェ広島の理念～

サッカー事業を通じて夢と感動を共有し、地域に貢献します

試合に勝ち、優勝争いをする事で、「夢」と「活力」と「郷土愛」に満ちた「ひろしま」の発展に寄与し、地域社会の繁栄に貢献します。



中国地方において、多大な公的、私的支援を受ける事で存在するサンフレッチェ広島は、地域の一構成員ではなく、重大な期待を授けられています。

プロサッカークラブとして試合に勝つこと、大会で優勝することは、応援していただいている地域社会から建設的に求められているものですが、クラブとしての存在意義、長機目的は単なる勝利至上主義ではありません。

サンフレッチェ広島は試合結果以外でも、様々な地域貢献活動、社会貢献活動を通じて、将来ある子供たちに「夢」を与え、「活力」と「郷土愛」に満ちた「ひろしま」の繁栄に貢献します。

サンフレッチェ広島の活動指針

～サンフレッチェ広島の活動指針～

日本一の育成クラブを目指します

サンフレッチェ広島は、幼稚園児からプロ選手に至るまで、積極的にサッカーの普及・育成活動に取り組んでいます。

地域の人々、サポーターに愛され、誇りに感じてもらえる選手を育てると共に、地域と一体になってサッカーの普及を行っており、年間約10,000人を対象に

- ユリガアカデミー
- クリニック
- 定期スクール
- 少年サッカー大会

などを実施、中国エリアでの地域スポーツ振興に貢献しています。

具体的には、「普及」→「発掘」→「育成」→「強化」と、各カテゴリーで成果を挙げ、市民・県民に親しまれ、愛される『日本一の育成クラブ』を目指します。



普及と育成活動

サンフレッチェ広島では、中国地方各地でサンフレッチェ広島サッカースクールを行っています。各スクールでは、サッカー大好き少年少女の裾野を広げよう、ボールに触れる機会をできるだけ増やすことで、「サッカーは楽しいな」と実感していただくような指導を行っています。また、長期的視野に立ち、将来のトッププレイヤーの育成に取り組んでいます。



選手育成の実績

サンフレッチェ広島ユースは、これまで数多くのトップ選手(57名)を輩出し、日本トップクラスの成績を挙げます。サンフレッチェ広島ユースは戦国時代の最盛期の大会である、高円宮杯JFAユースカップで、3連覇を達成するなど功績を収めています。

また、サンフレッチェジュニアユース出身者が菅原良太や藤野貴之など、広島県のサッカー界の向上に一役買っています。菅原良太選手が2009年の全国高校サッカー選手権で優勝した際には、登録選手25名中12名がサンフレッチェのジュニアユース出身者でした。

地域貢献活動① 「PRサポートショップ」

広島県内の飲食店・小売店を対象にサンフレッチェ広島の旗やポスターの掲出、ポケット日程表の設置にご協力をいただいています。町全体が旗やポスターでサンフレッチェカラーに染まることで私たちの願いです。

PRサポートショップ
登録件数：529件 (2015年2月末現在)

【サポートショップ以外の設置店舗】

エディオン(FC岩国)	179店
中国新聞販売所	324店
フレスタ	54店
広島銀行	165店
広島県信用組合	28店
広島信用金庫	76店
呉信用金庫	44店
廣川商店街興信組合	100店
コイン通り商店街興信組合	80店
タカノ橋商店街興信組合	30店
鹿野通り商店街興信組合	50店
左方中央商店会	40店
合計	1,170店
総計	1,698ヶ所

地域貢献活動② 「フレンドリータウン」

ホームゲーム当日、エディオンスタジアム広島「おまつり広場」にて開催している、地域の物理ブース、求職者に広島県内の名産品とふれあい、知っていただくことで、地域活性化につながります。



社会貢献活動① 「小学校訪問」

子どもたちの夢を育み、健全育成に寄与することを目的とし、県内の小学校を訪問しています。選手やコーチも中心に備って、グラウンドで一緒に体を動かしたり、給食を食べたりします。2006年から活動を開始し、これまでに広島県郊外の小学校を186校を訪問しました。

訪問校数 (平成27年12月現在)

第1回	平成18年9月	広島市17校
第2回	平成19年1月	広島市18校
第3回	平成19年7月	広島市14校
第4回	平成20年1月	広島市10校
第5回	平成20年6月	広島市9校
第6回	平成21年1月	広島市9校
第7回	平成21年6月	広島市7校
第8回	平成22年2月	広島市7校
第9回	平成22年8月	広島市6校
第10回	平成23年1月	広島市6校
第11回	平成23年6月	広島市7校
第12回	平成24年1月	広島市6校
第13回	平成24年7月	広島市7校
第14回	平成25年1月	広島市6校
第15回	平成25年6月	広島市6校
第16回	平成26年1月	広島市4校
第17回	平成27年1月	広島市4校

計：市内146校 市外40校

社会貢献活動② 様々な活動の支援・協力

試合会場の場内外にて、人権推進、オレンジリボンキャンペーン、ピンクリボンキャンペーン等の社会貢献活動に積極的に協力しています。





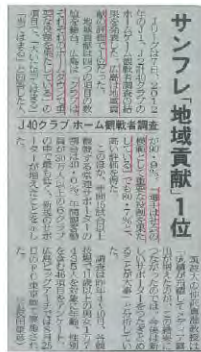
「サンフレッチェ広島」に対するイメージ

SANFRECCIE

J1リーグ20クラブのホームゲーム観戦者調査の結果、サンフレッチェ広島は地域貢献の評価で1位となりました。地域に根を張る活動を行ってきたことが、成果として表れてきていると考えられます。
出典：中国新聞（2013年2月8日）

また、2013年8月20日に一般社団法人の中央調査社が発表した「人気スポーツ観戦」の結果によると、好きなJ1クラブ調査では、全18チーム中、1位東洋和レックス、2位鹿島アントラーズに次ぐ、3位でした。

この調査の中で、「サンフレッチェ広島」、「ベガルタ仙台」、「アルビレックス新潟」、「セレッソ大阪」、「サガン鳥栖」、「大分トリニータ」など、地元との結びつきが強いチームが各地で人気になっているとの結果も出ています。



http://www.sanfrecce.co.jp/

Copyright © 2013 SANFRECCIE HROSHIMA FOOTBALL CLUB. All rights reserved.

Jリーグを代表する強豪チーム

SANFRECCIE

年	1	2	3	4	5	6	7	8
2015年	広島	浦和	川崎	FC東京	鹿島	川崎	横浜FM	浦和
2014年	川崎	浦和	鹿島	柏	鳥栖	横浜FM	横浜FM	浦和
2013年	広島	横浜FM	川崎	FC東京	鹿島	浦和	新潟	FC東京
2012年	広島	仙台	浦和	横浜FM	鳥栖	柏	名古屋	川崎
2011年	柏	名古屋	FC東京	仙台	横浜FM	鹿島	広島	横浜FM
2010年	名古屋	FC東京	FC東京	鹿島	川崎	浦和	清水	鳥栖

- ◆ 19年連続のJ1優勝を誇る5年連続でJ1リーグの覇者である7位浦和（FC浦和のAクラス昇格）に入った唯一のクラブです。
- ◆ 2連覇を達成したことがあるクラブとしては、ヴェルディ（川崎臨時）、鹿島アントラーズ、横浜FM、マリノスに続いて4クラブ目となります。

【過去の主な戦績】

- 1994年 Jリーグ 1stステージ優勝
- 2008年 J2リーグ 年間優勝
- 2012年 J1リーグ 年間優勝
- 2013年 J1リーグ 年間優勝
- 2015年 J1リーグ 2ndステージ および 年間優勝

ナビスコカップ
2010年 準優勝
2014年 優勝

ゼロックス
スーパーカップ
2008年 優勝
2014年 優勝

天皇杯
1992年 準優勝
1994年 準優勝
1999年 準優勝
2007年 準優勝
2013年 準優勝

http://www.sanfrecce.co.jp/

Copyright © 2013 SANFRECCIE HROSHIMA FOOTBALL CLUB. All rights reserved.

2015シーズン リーグ戦績

SANFRECCIE

今シーズンはベテラン選手と若手選手がうまく融合し、1stステージこそ3位だったものの、1年間通じて安定して勝ち試合が多く、2ndステージ優勝、年間順位でも首位の位置に立つことができました。そしてチャンピオンシップでは、カンパ大阪を退け、見事クラブ史上3回目の年間王者の座を獲得することができました。

J1リーグ 年間順位表

順位	チーム	勝	敗	分	得点	失点	得失点差
1	サンフレッチェ広島	19	3	2	43	19	24
2	鹿島アントラーズ	17	3	8	45	19	26
3	川崎フロンターレ	13	3	14	36	27	9
4	FC東京	13	3	12	33	23	10
5	横浜F・マリノス	13	3	11	37	41	-4

J1リーグ 1stステージ順位表

順位	チーム	勝	敗	分	得点	失点	得失点差
1	浦和	12	1	5	36	17	19
2	FC東京	10	1	4	24	8	16
3	サンフレッチェ広島	10	1	3	25	16	9
4	名古屋	10	1	4	28	14	14
5	横浜F・マリノス	10	1	3	24	13	11

J1リーグ 2ndステージ順位表

順位	チーム	勝	敗	分	得点	失点	得失点差
1	サンフレッチェ広島	10	1	3	14	14	0
2	横浜F・マリノス	10	1	4	16	14	2
3	川崎フロンターレ	11	1	4	12	8	4
4	横浜F・マリノス	11	1	4	14	13	1
5	浦和	11	1	4	14	13	1



http://www.sanfrecce.co.jp/

Copyright © 2013 SANFRECCIE HROSHIMA FOOTBALL CLUB. All rights reserved.

2015シーズン リーグ戦績およびホームゲーム年間入場者数

2015シーズン ホームゲーム平均入場者数：14,781人
J1リーグ戦 平均観客数：16,382人
ナビスコ杯 平均観客数：5,705人

日程	対戦相手	観客	入場者数
11-18(第1節)	フアンフォーレ中野	○ 2-0	14,871人
11-18(第2節)	鹿島アントラーズ	△ 0-0	26,302人
11-18(第3節)	ヴェルディ川崎	● 0-1	11,377人
11-22(第4節)	東京FC	△ 2-2	4,884人
11-22(第5節)	フアンフォーレ中野	○ 2-0	11,413人
11-18(第6節)	ベガルタ仙台	○ 2-0	15,566人
11-22(第7節)	ガンバ大阪	● 0-1	17,722人
11-22(第8節)	アルビレックス新潟	○ 4-2	10,480人
11-22(第9節)	FC東京	○ 1-1	6,730人
11-22(第10節)	フアンフォーレ中野	○ 2-0	5,705人
11-22(第11節)	セレッソ大阪	○ 1-1	12,286人
11-22(第12節)	松山シティ	○ 6-0	15,174人
11-22(第13節)	横浜F・マリノス	○ 2-0	16,689人
11-22(第14節)	仙台	● 0-1	14,472人
11-22(第15節)	名古屋	○ 1-1	14,472人
11-22(第16節)	サガン鳥栖	△ 0-0	13,919人
11-22(第17節)	札幌	△ 0-0	18,425人
11-22(第18節)	FC東京	● 0-1	18,418人
11-22(第19節)	川崎フロンターレ	○ 2-1	19,751人
11-22(第20節)	横浜F・マリノス	○ 0-0	21,113人
合計20試合			294,634人

2013年 平均入場者数：14,413人
2014年 平均入場者数：12,943人

http://www.sanfrecce.co.jp/

Copyright © 2013 SANFRECCIE HROSHIMA FOOTBALL CLUB. All rights reserved.

2015 FIFAクラブワールドカップジャパに出場

SANFRECCIE

2015年は、クラブとして2回目のFIFAクラブワールドカップ出場。10日間で4試合という非常に過酷なスケジュールの中、リーグチャンピオンの誇りを胸に、選手達は奮闘しました。その結果、アジアチャンピオンの広州恒大を下し世界勢に打ち勝ちました。J1リーグクラブの入賞は、2008年のガンバ大阪に続いてクラブの快挙となります。原爆投下70周年の年に、日本の代表として「HIROSHIMA」の名を世界にアピールすることができました。



http://www.sanfrecce.co.jp/

Copyright © 2013 SANFRECCIE HROSHIMA FOOTBALL CLUB. All rights reserved.

2015 Jリーグアウォーズ フェアプレー賞 高円宮杯を受賞

J1リーグにおける反則ポイントの年間合計数が34ポイント以下の反則ポイント数最少チームとなり、4年連続5回目の高円宮杯を受賞しました。受賞理由は「Jリーグ全クラブ中最多記録を更新」。

また、当クラブはフェアプレー個人賞の受賞者も多く、2004年のGK下田選手（現・GKコーチ）をはじめに、過去7選手が受賞しております。

このようにサンフレッチェ広島は、成績だけでなく、フェアプレー精神の尊重という面でも高い評価をいただいております。

【2015反則ポイント最少】

クラブ名	反則ポイント
サンフレッチェ広島	34
フアンフォーレ中野	4
横浜F・マリノス	10
松山シティ	27
ガンバ大阪	30

【フェアプレー個人賞 受賞者一覧】

受賞年	選手	ポジション
2004	下田 貴之	GK
2007	佐藤 貴人	FW
2009	橋本 壮介	MF
2010	橋本 智博	DF
2012	佐藤 貴人	FW
2013	佐藤 貴人	FW
2014	永木 実篤	DF

4年連続5回目の高円宮杯を受賞

http://www.sanfrecce.co.jp/

Copyright © 2013 SANFRECCIE HROSHIMA FOOTBALL CLUB. All rights reserved.

サンフレッチェ広島のファン・サポーター属性



参考：サンフレッチェ広島のスタジアム観戦者属性

SANFRECCIE

観戦者の男女比

観戦者の約6割が男性という結果ではあるが、2015シーズンは女性をターゲットにしたスタジアムイベントを実施しており、観戦の女性ファンが増加傾向をみている。また、女性観客数は前年比4.3%増加しているため、今後ますます女性観客の割合が高まること予想される。

観戦者の年齢別割合、平均年齢

観戦者の年齢層としては、1993年のJリーグ開幕から継続して定着してきている30代～50代の方が多い。一方で、23-29歳に関しては前年比6.5%増加しており、今後前半輩の観客数が増えることが予想される。

平均年齢 40.6歳

http://www.sanfrecce.co.jp/

Copyright © 2013 SANFRECCIE HROSHIMA FOOTBALL CLUB. All rights reserved.



team assistant

堀 啓二

Keiji hori



◆経歴

2013年11月 予てより抱いていた55歳を期に役職退職執行役員を最後に30年務めた会社を早退希望退職。
2014年12月 サイクリストの集う場所広島初の自転車カフェ「velo cafe voyAge」オープンする。
2015年1月 中四国初のプロロードレースチーム「VICTOIRE広島」創設スタッフ就任。
2015年2月 因島市大山神社 先達就任。
2015年4月 瀬戸内サイクルメディア 理事就任。
2015年7月 voyAge cycling team設立。
2015年7月 オーストラリアのサイクルメディア「cyclingtips」コラボレーションチャージ製作。
2015年12月 新たなポテンシャルアップを図るため現在、自転車を通して地域の環境問題や観光振興、地域活性化に更なる注力を図るため「古民家 輪」を新拠点に活動中。

◆主な地域活動実績(進行形)

2013年11月 予てより抱いていた55歳を期に役職退職執行役員を最後に30年務めた会社を早退希望退職。
2014年12月 サイクリストの集う場所広島初の自転車カフェ「velo cafe voyAge」オープンする。
2015年1月 中四国初のプロロードレースチーム「VICTOIRE広島」創設スタッフ就任。
2015年2月 因島市大山神社 先達就任。
2015年4月 瀬戸内サイクルメディア 理事就任。
2015年7月 voyAge cycling team設立。
2015年7月 オーストラリアのサイクルメディア「cyclingtips」コラボレーションチャージ製作。
2015年12月 新たなポテンシャルアップを図るため現在、自転車を通して地域の環境問題や観光振興、地域活性化に更なる注力を図るため「古民家 輪」を新拠点に活動中。

H27年度 社会貢献活動 やさしいまちづくり



◆経歴

2013年11月 予てより抱いていた55歳を期に役職退職執行役員を最後に30年務めた会社を早退希望退職。
2014年12月 サイクリストの集う場所広島初の自転車カフェ「velo cafe voyAge」オープンする。
2015年1月 中四国初のプロロードレースチーム「VICTOIRE広島」創設スタッフ就任。
2015年2月 因島市大山神社 先達就任。
2015年4月 瀬戸内サイクルメディア 理事就任。
2015年7月 voyAge cycling team設立。
2015年7月 オーストラリアのサイクルメディア「cyclingtips」コラボレーションチャージ製作。
2015年12月 新たなポテンシャルアップを図るため現在、自転車を通して地域の環境問題や観光振興、地域活性化に更なる注力を図るため「古民家 輪」を新拠点に活動中。

◆主な地域活動実績(進行形)

2013年11月 予てより抱いていた55歳を期に役職退職執行役員を最後に30年務めた会社を早退希望退職。
2014年12月 サイクリストの集う場所広島初の自転車カフェ「velo cafe voyAge」オープンする。
2015年1月 中四国初のプロロードレースチーム「VICTOIRE広島」創設スタッフ就任。
2015年2月 因島市大山神社 先達就任。
2015年4月 瀬戸内サイクルメディア 理事就任。
2015年7月 voyAge cycling team設立。
2015年7月 オーストラリアのサイクルメディア「cyclingtips」コラボレーションチャージ製作。
2015年12月 新たなポテンシャルアップを図るため現在、自転車を通して地域の環境問題や観光振興、地域活性化に更なる注力を図るため「古民家 輪」を新拠点に活動中。



◆目的: 笑顔が溢れる空間と前を創り続け、大きな輪に繋げていくこと。
地域の財産である古民家をみんなで整え改装し、地域に活用する場として蘇らせることで地域内外の、たくさんの人と人が集う場を創り上げ、繋がりが合う場を提供することでたくさんの笑顔に出会える「古民家 輪」であり続けること



◆コンテンツ
velo cafe voyAge
vayAge cycling
otocojyuku
gallery
workshop
rent space & studio

代表 堀 啓二

JBCF 一般社団法人 全日本実業団自転車競技連盟



JBCFジャパンプロツアー
(Jプロツアー)
日本国内のトップリーグ。
JPTの個人賞格を獲得した選手を5名以上擁し、
JBCFが主催するチームがJPTに
優勝ポイントのルールで個人競走、21歳以下の新人賞、団体総合
優勝のタイトルを争う。

全国22チーム内 中四国初の参戦チーム

日本最高峰ロードレース

2015 チームランキング 13位



【以前】

広島には強い選手がいるにも関わらず…
広島に JPTを参戦するチームがない
他県チームに所属してレースに参戦

【更に】

広島には優れた人材がいる
アテネオリンピック日本代表
唐見美世子

マスターズ世界選手権
スクラッチ優勝
山口忠之



【安全運転教室】

福山市千田町、千田保育所で園児150名を対象に福山市と
ヴィクトワール広島による「こども交通安全教室」を行いました。



山口県平生町で行われた「大星山ヒルクライム」の会場内で、
地元の小中学生を対象に自転車安全教室を行いました。



【若手の育成】

地元高等学校自転車競技部
合宿参加
インターハイ出場選手の輩出



二軍選手は自己を
一軍選手はチームが勝つことを考える。
一流選手はファンに夢を与えることができる。




アンジュヴィオレ広島






「アンジュヴィオレ広島」の母体となる 「広島横川スポーツ・カルチャークラブ」の概要

◆ H23年(2011年)9月「広島横川スポーツ・カルチャークラブ」発足
(12月 特定非営利活動法人(NPO法人)の認証)

役員) 名誉理事長: 岸田文雄 (外務大臣・衆議院議員)
理事長: 水戸川旭 西区社会福祉協議会会長
理事: 猫島栄治、山城武之、村上正、神村登紀恵、高津明伸、砂原克規、滝山瑞枝、
監事: 松木朝寿

目的) 広島市及びその周辺を中心とする地域住民等に対して、スポーツや芸術を
始めた各種取り組み等に関する事業を行い、地域の発展に寄与すること
活動内容) 様々な芸術の振興、子どもの健全育成、まちづくりの推進を図る活動 等



2012年～2013年の戦績

2012年、7戦全勝でホリリーグ優勝を果たす！

2013年、9戦全勝無失点で中国リーグ優勝を果たす！




2013年、11月、チャレンジリーグ(なでしこ2部)に昇格！

**チャレンジリーグ
入替戦**
2013年11月17日(鹿児島)
※入替試合のため、チャレンジ
リーグ公式の公式戦として行われ
ないが、結果として昇格し、
チャレンジリーグ昇格
を認められる。

**チャレンジリーグ昇格チーム
決定戦**
2013年11月18日(広島県)
※全国でのリーグごとの代表
選手を各大会の予選大会で選出
したそれぞれのチームが広島
スタジアムで対戦、アンジュ
ヴィオレは最勝の姿で決定。




2014年度の実績

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失点
1	大塚高機	53	22	16	5	1	53	16	+37
2	日体FC	51	22	16	3	3	60	19	+41
3	ノジマ	50	22	16	2	4	54	26	+28
4	AC長野	42	22	13	3	6	70	37	+33
5	Aハリマ	41	22	12	5	5	26	16	+10
6	S徳田鈴	38	22	11	5	6	45	30	+15
7	ac福岡	36	22	11	3	8	42	31	+11
8	常盤木高	34	22	10	4	8	53	39	+14
9	EFCL	27	22	8	3	11	41	39	+2
10	アンジュ	26	22	7	3	10	29	35	-6
11	JSLC	23	22	6	5	11	25	42	-17
12	福岡AN	23	22	7	2	13	21	41	-20
13	静産大ク	21	22	5	6	11	27	47	-20
14	C大取博	18	22	5	3	14	34	55	-21
15	パネーズ	13	22	3	4	15	23	51	-28
16	清水第八	3	22	1	0	21	9	88	-79

2015年度の実績

プレナス杯でしこ2部リーグ2015

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失点
1	AC長野	67	27	22	1	4	85	25	+60
2	ノジマ	64	27	21	1	5	91	33	+58
3	日体大F	56	27	18	2	7	65	29	+36
4	S徳田鈴	40	27	12	4	11	45	40	+5
5	アンジュ	39	27	14	3	10	38	40	-2
6	EFCL	34	27	10	4	13	42	59	-17
7	Aハリマ	32	27	8	9	11	39	41	-2
8	常盤木大	25	27	8	1	18	33	53	-20
9	福岡AN	23	27	6	5	16	24	70	-46
10	JSLC	9	27	2	3	22	16	88	-72



今後の目標

トップリーグ「なでしこリーグ」昇格を目指します！

地域のでつくり、応援していただけるチームへ

【ホームの運営はクラブ自主運営】

なでしこリーグ2部において広島でのホームゲームはクラブ自主運営となり、人件費・会場費・運営費はすべてクラブ負担となります。クラブ正会員と地域の皆様、アンジュヴィオレを応援しようとする自主的に働いていただいているボランティアの皆様のおかげで人件費などは最小限に抑える方法をとっています。

【全国へ遠征】

なでしこリーグ2部となり、いまでもよりも試合数はおくなり全国各地で試合をすることになりました。遠征費の負担もかなり大きくなりました。





特定の企業の実業団ではなく、地域主体で組織され、地元企業の皆様に申し分なく支援いただいているアンジュヴィオレ広島ですので、市民が「我がチームである」という一体感が浸透しております。

地域のでつくり、応援していただけるチームへ

【地域の団結力でホームゲーム運営！！】








選手名表示パネル作成中！



日中は働きながら、仕事を終えたあと練習へ

ある特定の企業ではなく地域の様々な企業へ就職をさせていただき、平日の日中は仕事をしています。
【選手を雇っていただけの企業様も募集しています。】

例えば9:00~18:00まで勤務



火~金曜日 19:00~21:00まで練習
※2016シーズンからは17:30~練習
土/日曜日は試合、遠征など



選手を雇っていた企業にお勤めの社員の皆様は、必ず選手をお雇いいただき、試合を組んでいただいたり、プライベートでも選手を食事に連れて行ってもらったり大変お世話になっております。選手が働かせてもらうことで、会社の雰囲気も活気も話題も溢れ、明るい空気が広がってきたというお声もいただいております。選手が地元企業で働くきっかけをつくるという点も、ひとつの地域貢献であると考えています。選手が地元企業で働くきっかけをつくるという点も、ひとつの地域貢献であると考えています。



アンジュヴィオレ広島を作った目的

【優秀な選手の県外流出を防ぐ】
広島では広島文教高校や山陽女子など、全国的にも有力な女子サッカーチームがあるにも関わらず、今まで広島県にサッカーチームがなかった。その結果、チームがなかったため、優秀な選手が県外の大学サッカー部やクラブチームへ入団している状況が続いていました。

【女子サッカー普及&強化】
全国的にも女子サッカーの環境は男子と比べるとまだまだありません。広島でも小学生の頃は男子と一緒に女子サッカーをやっています。中学校には女子サッカー部はほとんどなく、別のクラブに入ったり、サッカーをやめちゃう女子もたくさんいました。

2012年、アンジュヴィオレ広島誕生

2012年、アンジュヴィオレU-12スクール
2014年、アンジュヴィオレU-18誕生

県外の大学でサッカーをしていたり、県外のチームでプレーしていた選手がアンジュヴィオレ広島に入団して活躍できるようになりました。そして地元企業へ就職して働いています。

普及目的で女子小学生を対象にサッカースクールを行い、女の子がサッカーに触れる機会を増やすと同時に、U-18のチームをつくることで、小学校を卒業したあとの受け皿もつくりました。アンジュヴィオレ広島トップチームへ昇格は入団し、新しいクラブで活躍している選手も育っています。



アンジュヴィオレ広島が誕生することで地域の子どもたちに目指す夢が広がりました。また、広島でトップレベルのサッカーができることと県外にいる広島出身の選手たちにおもてなし、広島に居てくれるという選手も増えてきました。こういった活動から生まれる結果も、我々クラブが目指す地域貢献のひとつでもあります。

広島の皆様からの愛されるチームへ!

ALL 広島

広島県全体に知ってもらい
広島に関わるみんなに愛されるチームになる!

100パートナーズ

2015年はアンジュヴィオレ広島の活動に賛同いただき支援いただける賛助会員団体、企業様(年会費50,000円)を100社を目標としています。※2015年4月現在、75社。

すべての試合で最後まで諦めない姿勢を忘れず、サポートいただいている広島の皆様にも勇気・希望・感動を与えられるチームを目指し、地域に貢献します!

賛助会員に入会いただきクラブの活動のご支援をお願い致します!

当クラブではスポーツ・アートを軸として、広島の発展・活性化・街づくりに資することを目的に各種取り組みを行っています。「アンジュヴィオレ」はその主たる取り組みとなっており、その活動を通じて地域貢献をめざしています。その活動にご賛同いただきバックアップいただく企業様も募っています。

<p>賛助会員【団体】 ¥50,000(年会費)</p> <p>2014年3月現在もたくさん企業様、団体様に賛助会員をなっています。2014年度は100社パートナーズプロジェクトの目標のもと100社様のご支援を目標にしております。何卒よろしくお願いたします。</p> <p>会員特典</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記念品/パートナーズ選品 (2014年度) ■クラブ会報交流 (年2回) ■新年ハッピー発表会や運動会・秋祭会へのご案内 	<p>賛助会員【個人】 ¥5,000(年会費)</p> <p>アンジュヴィオレ広島は市民の皆様から愛されているクラブチームです。まだまだ始まったばかりのチーム、一緒に育てていきたいと思います。</p> <p>会員特典</p> <ul style="list-style-type: none"> ■アンジュヴィオレ広島メンバーカード ■クラブ会報交流(年2回) <p>メンバーカードがスポーツグッズでメンバーカードをご提示いただくと、様々な特典を受けることができます。さらさら特典はホームページで確認ください。 http://angeviolet.com</p>
---	---



3. 活動メンバー感想

田中 雅宣

「スポーツとまちづくり」、その関連についてあまりピンときていなかったが、まちトークを聞き、各団体とも多様な機会をもって市民（まち）の参画促進を強く意識されていることがよく分かった。よく考えると、スポーツ活動と人づくりの親和性は高く、かつまちづくりと人づくりの親和性も高い。であれば、スポーツとまちづくりの親和性が高いのも自明ですね。

亀田 雄二

平成 27 年度はほとんど参加できませんでした。メンバーの平均年齢を下げることには一役買うことができました。まちトーク2016「スポーツとまちづくり」も一参加者のような振る舞いしか出来ず申し訳ありません。この委員会は若い人が多く、経験値は少ないと言わざるを得ませんが、まちトークの企画・運営を横目で見ながら、「各社業務で鍛えられているのか、立派なものだな」と感心した次第です。個人的には春秋2回、南区主催の「自転車さんぽ」に本委員会からという形で協力しました。今後も本委員会協力という形での「自転車さんぽ」は継続していきたいので、是非皆様のご協力をお願いいたします。

天野 佑介

今年度の活動は、なかなか広島地域にはないお宝資源を紹介した観光ガイドブックを作成するという事で、かなり気合は入っていたのですが、メインの作業は後輩に任せるところもあり、今後はいかにして広い視野でモノをみて、いいものを作るか、という目線で計画づくりをやっていければと考えています。手を動かすことも大事ですが、点でしか見えなかったものをいかに広く見てあげられるか、そんな力を自分自身研鑽していきたいと思う一年でした。

今後とも建コンの当委員会では、まだ行政等が踏み込んでいない領域に入って、これまででなかった成果を生み出し、地域に貢献していくことに尽力してまいりたいと思います。



小田 雄司

今年のテーマは観光案内の冊子を作るということで、構想中は妄想ばかりで楽しく作業をしていました。広島に来て 10 年が経とうとしており、こっちもあっちも多くの人に知ってもらいたいという施設はありました。そこで私は、水の都と言っている割には雁木タクシーや水上バスなどが、さほど知られていない印象だったので、是非この機会を使ってもっと多くの人に知ってもらいたく紙面の中心を雁木タクシーとしました。

知ってもらいたいと思っていた私自身も、乗船するのは今回が初めてで、水面近くから見る広島のみちは、別のまちを見ているぐらい、いつもと違う印象でした。長く住んでいる場所でも知らない面があるんだなと改めて思いました。

これからも、こうした活動を通して、広島の情報発信や発展に微力ながらも協力していきたいと思います。

岡本 隆彦

観光ガイドブックの作成では、まちなかの路面電車の旅を体験しました。フリーパスを利用すれば気兼ねなく乗り降りできるし、便数も多いため、ストレスなく旅を楽しむことができました。また、まちを改めて見ると、いろんなところに外国語表記があるし、外国人観光客の方もたくさんおられました。ただ、はたして、彼らにとって訪れやすいまちなのか、そして楽しいまちなのかどうか……。語学力というコミュニケーション能力は皆無なので不可能ですが、機会があれば、実際のところを聞いてみたいですね。

フォーラムでは、広島のスポーツに焦点を当てましたが、これまた広島は恵まれた環境にあると再認識できました。サンフレッチェだけでなく、各種目で優勝に絡むぐらい強くなれば、もっと広島が盛り上がるでしょうね。個人的には、カーブが強いのということないです。

織田 恭平

今年はガイドブック作成のため初めてびーすくるをレンタルし、駅裏の寺社を巡り、広島に 4 年住んでいながら新たな発見がたくさんありました。ガイドマップの完成が楽しみです。フォーラムも大変有意義であり、参加者だけでなく我々メンバーも広島の魅力を再発見できたのではないのでしょうか。活動の幅も広がったので、来年度はさらにいろいろなことに挑戦できればと思います。



藤岡 義久

今回、約 10 年振りに活動させて頂きました。メンバーは若返り、活動内容も昔とは異なり、殆どお役にたてなかった感は否めません。

マップづくりでは、各社 1 マップ担当し作成しましたが、それぞれに作り込み方の特徴があり、とても感心させられました。フォーラムは例年より遅れての開催となりましたが、会場、パネリストなどこれまでと趣向を変えた色濃いものとなり、とにかく、いろいろと驚かされた 1 年となりました。

なかなかペースを上げられないかもしれませんが、引き続きかかわっていきたく思いますので、今後ともよろしくお願ひします。

佐藤 裕治

今年度の活動の一つ目のテーマであるガイドブックの作成については、広島市内で導入したばかりの電動レンタサイクル・ぴーすくるを実際使用し、登り坂も苦しめない性能に驚かされた。今後の PR やモデルルートの提案等により、ぴーすくるを日常移動や観光移動での有効な交通手段として定着することを期待している。

2 つめのテーマとなるフォーラムについては、横川シネマという例年とは異なるシチュエーションで、広島をスポーツを支える錚々たるメンバーによる「まちづくり」に通じた貴重なお話やご意見をいただき、非常に有意義な機会になったと思う。

また、今年度は福山コンサルタントさんの呼びかけで、学生フォーラムに自転車の先導員として参加した。フォーラムでは、国土交通省、大学生、地域づくりの活動組織とフラットな関係で交流することが出来、こちらも社会貢献に繋がる有意義な体験となった。

山光 涼平

今年度の活動にて初めての参加となりました。途中からの参加となり、お力になることができず、申し訳なく思います。

これまで、同業者の方とこのような形で交流の場を持つことがなかったため、とても有意義な時間を過ごすことができました。

今回作成したパンフレットが広島を訪れた方々の観光マップとしてたくさん利用されることを願ひます。



鈴木 凜太郎

私は、今年度より初めて建コン活動に携わりました。建コン活動で私が関わった活動内容で広島市内へ訪れる観光客へ向けたガイドブックの作成でした。作成至るまでの経緯で、観光ルートの考案、日本語の分からない外国人の為にピクトグラムの効果的な使用方法、レイアウトや文面の設定など、なかなか単純にはいかずに苦労したこともありました。少しマイナーな観光スポットというコンセプトでガイドブックを作成するにあたって、自分自身で、実際その観光ルートを自分で周遊して観光をしたが、私自身も広島に来てまだ間もない時であったため、とても楽しむことができた。

年明けにはフォーラムにも参加し、スポーツ活動に従事している方々の貴重な話を聴講することができ、私自身にとっても非常にためになる時間であった。

日向 雄人

私は、今年度から建コンの活動に参加させていただきました。

今年度はまちづくり活動として、中国地方学生フォーラムに、サイクリングの先導役として参加させていただきました。サイクリングの時間管理が難しく、苦労する場面も多々ありましたが、学生含め、立場の違う参加者との交流を深めることができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

また、学生との話の中で、「社会人と共同作業を行うことが新鮮」「もっと社会（仕事）の話聞く時間が欲しかった」などの意見を聞くことができ、まちづくり活動に参加することの意義を再認識することができました。

来年度は、建コン2年生として、会議での積極的な発言や、まちづくり活動への参加継続を目標としていきたいと思っております。引き続きよろしくお願い致します。